

対象校No.

注4

学校コード F134310109866

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**届出**

注2

広島修道大学 人文学部 社会学科

**【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人修道学園  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学長室総合企画課
職名・氏名	カチョウ コニシ マサヒコ 課長・小西 正彦
電話番号	082-830-1102
(夜間)	082-830-1102
e-mail	kikaku@js.shudo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

# 目次

人文学部

＜社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	28
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	30
6. 附帯事項等に対する履行状況等	76
7. その他全般的事項	77

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修道学園

## (2) 大学名

広島修道大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒731-3195

広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(ヤノ イズミ) 矢野 泉 (令和4年4月1日)		
学部長	(ヤマカワ アユミ) 山川 肖美 (令和6年4月1日)		
学科長等	(ナカネ ミツトシ) 中根 光敏 (令和6年4月1日)	(ニイタ ノリコ) 仁井田 典子 (令和7年4月1日)	任期満了による交代 (令和7年4月1日)(7)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必要な場合に、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 社会学科 学士(社会学)	社会学・社会 福祉学関係	4 年	95 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	380 人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択してください。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	95 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	95 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	-			
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1,066 [ ]	( ) [ ]	1,014 [ ]	( ) [ ]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳	1.15倍	-	
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1,059 [ ]	( ) [ ]	1,008 [ ]	( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	664 [ ]	( ) [ ]	670 [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	92 [ ]	( ) [ ]	131 [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.96	-	1.37	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択してください。)
  - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	89	-	131	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	89	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	89	-	220	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	89 人	3 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(3名)
令和7年度	220 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」のように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{3}{92} = \boxed{3.26} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{220} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人文学部 社会学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	広島修道大学と広島	1①		1								3
	広島と平和	1・2②		1								1
	広島の防災と法務	2・3後		2								1
	小計 (3科目)	—										
国際理解科目	日本語Ⅰ	1・2前		1								1
	日本語Ⅱ	1・2後		1								1
	日本語Ⅲ	1・2前		1								1
	日本語Ⅳ	1・2後		1								1
	日本語Ⅴ	1・2前		1								1
	日本語Ⅵ	1・2後		1								1
	日本語Ⅶ	1・2前		1								1
	日本語Ⅷ	1・2後		1								1
	アカデミック日本語	1・2前		2								1
	ビジネス日本語	1・2後		2								1
	漢字入門Ⅰ	1・2前		1								1
	漢字入門Ⅱ	1・2後		1								1
	留学生アカデミックスキル	1・2前		2								1
	留学生キャリア形成	1・2後		2								1
	留学スタートアップ	1・2①・③		1								1
	留学フォローアップ	1・2②・④		1								1
	中長期スタディ・アブロード (入門)2前	2		1								1
	中長期スタディ・アブロード (専前)前・後	2		1								1
	中長期スタディ・アブロード (専後)①・③	1		1								1
	外国語としての日本語 (日本語教育)	1・2前		2								1
	外国語としての日本語 (多文化共生)	1・2後		2								1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2前		2								1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2後		2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅠ)	1・2前		2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅡ)	1・2後		2								1
	多文化交流プロジェクト (多文化理解)	1・2前		2								1
	多文化交流プロジェクト (地方の魅力)	1・2前		2								1
	多文化交流プロジェクト (広島再発見)	1・2後		2								1
	多文化交流プロジェクト (現代の社会)	1・2後		2								1
	多文化交流プロジェクト (言語と文化)	1・2後		2								1
	言語文化特殊講義Ⅰ (ドイツ語)	2・3前		2								1
	言語文化特殊講義Ⅱ (ドイツ語)	2・3後		2								1
言語文化特殊講義Ⅰ (フランス語)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (フランス語)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (スペイン語)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (スペイン語)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (中国語)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (中国語)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (韓国・朝鮮語)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (韓国・朝鮮語)	2・3後		2								1	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	広島修道大学と広島	1①		1								4
	広島と平和	1・2②		1								1
	広島の防災と法務	2・3後		2								1
	小計 (3科目)	—										
国際理解科目	日本語Ⅰ	1・2前		1								3
	日本語Ⅱ	1・2後		1								3
	日本語Ⅲ	1・2前		1								2
	日本語Ⅳ	1・2後		1								2
	日本語Ⅴ	1・2前		1								2
	日本語Ⅵ	1・2後		1								3
	日本語Ⅶ	1・2前		1								3
	日本語Ⅷ	1・2後		1								3
	アカデミック日本語	1・2前		2								1
	ビジネス日本語	1・2後		2								1
	漢字入門Ⅰ	1・2前		1								1
	漢字入門Ⅱ	1・2後		1								1
	留学生アカデミックスキル	1・2前		2								1
	留学生キャリア形成	1・2後		2								1
	留学スタートアップ	1・2①・③		1								1
	留学フォローアップ	1・2②・④		1								1
	中長期スタディ・アブロード (入門)2前	2		1								1
	中長期スタディ・アブロード (専前)後	2		1								1
	中長期スタディ・アブロード (専後)①・③	1		1								1
	ヨーロッパ言語留学入門	1・2②		1								4
	英語留学入門	1・2②・④		1								4
	アジア留学入門	1・2②・④		1								3
	外国語としての日本語 (日本語教育)	1・2前		2								1
	外国語としての日本語 (多文化共生)	1・2後		2								1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1・2前		2								1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1・2後		2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅠ)	1・2前		2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese SocietyⅡ)	1・2後		2								1
	Multicultural Project (Video Games Studies)	1・2後		2								1
	多文化交流プロジェクト (多文化理解)	1・2前		2								1
	多文化交流プロジェクト (地方の魅力)	1・2前		2								1
	多文化交流プロジェクト (広島再発見)	1・2後		2								1
多文化交流プロジェクト (現代の社会)	1・2後		2								1	
多文化交流プロジェクト (言語と文化)	1・2後		2								1	
多文化交流プロジェクト オンライン交流	1・2前		2								1	
言語と文化 英語の歴史と文化Ⅰ)	1・2前		2								1	
言語と文化 英語の歴史と文化Ⅱ) 余剰	1・2後		2								1	
言語と文化 英語学入門Ⅰ)	1・2前		2								1	
言語と文化 英語学入門Ⅱ)	1・2後		2								1	
言語と文化 英語と日本語の音声)	1・2後		2								1	
留学英語入門 海外生活Ⅰ)	1・2前		2								1	
留学英語入門 海外生活Ⅱ)	1・2後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (ドイツ)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (ドイツ)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (フランス)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (フランス)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (スペイン)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (スペイン)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (中国)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (中国)	2・3後		2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (韓国・朝鮮)	2・3前		2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (韓国・朝鮮)	2・3後		2								1	
JAPANヒックス 政治)	1・2①		1								1	
JAPANヒックス 社会)	1・2②		1								1	
JAPANヒックス 経済)	1・2③		1								1	
JAPANヒックス 環境)	1・2④		1								1	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ことばと社会	1・2前		2							1	
	英語Ⅰ(リーディング・ライティング)	1前		1							1	9
	英語Ⅱ(リーディング・ライティング)	1後		1							1	9
	英語Ⅲ(リスニング・スピーキング)	1前		1							1	9
	英語Ⅳ(リスニング・スピーキング)	1後		1							1	9
	アクティブ・イングリッシュⅠ	1・2前		1							1	1
	アクティブ・イングリッシュⅡ	1・2後		1							1	1
	英語ライティングⅠ	1・2前		2							1	1
	英語ライティングⅡ	1・2後		2							1	1
	英語ライティングⅢ	1・2前		2							1	1
	英語ライティングⅣ	1・2後		2							1	1
	英語聴解Ⅰ	1・2前		2							1	2
	英語聴解Ⅱ	1・2後		2							1	2
	英語聴解Ⅲ	1・2前		2							1	1
	英語聴解Ⅳ	1・2後		2							1	1
	英語読解Ⅰ	1・2前		2							1	3
	英語読解Ⅱ	1・2後		2							1	3
	英語読解Ⅲ	1・2前		2							1	1
	英語読解Ⅳ	1・2後		2							1	1
	アカデミック・リーディングⅠ	1・2前		2							1	1
	アカデミック・リーディングⅡ	1・2後		2							1	1
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1・2前		1							1	3
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1・2後		1							1	3
	英語コミュニケーションⅠ	1・2前		2							2	2
	英語コミュニケーションⅡ	1・2後		2							2	2
	英語コミュニケーションⅢ	1・2前		2							1	1
	英語コミュニケーションⅣ	1・2後		2							1	1
	英語コミュニケーションⅤ	1・2前		2							1	1
	英語コミュニケーションⅥ	1・2後		2							1	1
	英語文法入門Ⅰ	1・2前		1							1	2
	英語文法入門Ⅱ	1・2後		1							1	2
	英語語法Ⅰ	1・2前		2							2	2
	英語語法Ⅱ	1・2後		2							2	2
	英語語法Ⅲ	1・2前		2							1	1
	英語語法Ⅳ	1・2後		2							1	1
	資格英語入門Ⅰ	1・2前		1							1	2
	資格英語入門Ⅱ	1・2後		1							1	2
	資格英語Ⅰ	1・2前		2							2	4
	資格英語Ⅱ	1・2後		2							2	4
	資格英語Ⅲ	1・2前		2							2	2
	資格英語Ⅳ	1・2後		2							2	2
	資格英語Ⅴ	1・2前		2							2	1
	資格英語Ⅵ	1・2後		2							2	1
	英語プレゼンテーションⅠ	1・2前		2							2	1
	英語プレゼンテーションⅡ	1・2後		2							2	1
	英語ディスカッションⅠ	1・2前		2							2	1
	英語ディスカッションⅡ	1・2後		2							2	1
	英語ディスカッションⅢ	1・2前		2							2	1
	英語ディスカッションⅣ	1・2後		2							2	1
	英語ディスカッションⅤ	1・2前		2							2	1
	英語ディスカッションⅥ	1・2後		2							2	1
	時事英語Ⅰ	1・2前		2							2	1
	時事英語Ⅱ	1・2後		2							2	1
	時事英語Ⅲ	1・2前		2							2	1
	時事英語Ⅳ	1・2後		2							2	1
	時事英語Ⅴ(未開講)	1・2前		2							2	1
	時事英語Ⅵ	1・2後		2							2	1
	ビジネス英語Ⅰ	1・2前		2							2	1
	ビジネス英語Ⅱ	1・2後		2							2	1
	ビジネス英語Ⅲ	1・2前		2							2	1
	ビジネス英語Ⅳ	1・2後		2							2	1
	ビジネス英語Ⅴ	1・2前		2							2	1
	ビジネス英語Ⅵ	1・2後		2							2	1
	ドイツ語Ⅰ	1前		1							1	1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1							1	1
	ドイツ語Ⅲ	1前		1							1	1
	ドイツ語Ⅳ	1後		1							1	1

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	フランス語Ⅰ	1前	1								1
	フランス語Ⅱ	1後	1								1
	フランス語Ⅲ	1前	1								1
	フランス語Ⅳ	1後	1								1
	スペイン語Ⅰ	1前	1								1
	スペイン語Ⅱ	1後	1								1
	スペイン語Ⅲ	1前	1								1
	スペイン語Ⅳ	1後	1								1
	中国語Ⅰ	1前	1								2
	中国語Ⅱ	1後	1								1
	中国語Ⅲ	1前	1								1
	中国語Ⅳ	1後	1								1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1								2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1								2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前	1								2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後	1								2
	中級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(フランス語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(フランス語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(スペイン語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(中国語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(中国語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2・3後	2								1
	海外研修A	1・2・3・4	1								1
	海外研修B	1・2・3・4	2								1
	海外研修C	1・2・3・4	3								1
	海外研修D	1・2・3・4	4								1
	海外研修E	1・2・3・4	5								1
	小計(130科目)	—									
一般 教養 科目	哲学	1・2前	2								1
	倫理学	1・2後	2								1
	美学	1・2前・後	2								1
	芸術学	1・2前・後	2								1
	西洋文学	1・2前・後	2								2
	日本語学	1・2前	2								1
	心理学	1・2前・後	2								2
	文化論	1・2前	2								1
	文化人類学	1・2前	2								1
	西洋の美術	1・2前・後	2								1
	日本近世文学	1・2後	2								1
	西洋文化論	1・2④	2								1
	人間と生命の倫理学	1・2前	2								1
	人生の探究としての倫理学	1・2前・後	2								1
	愛の倫理的考察	1・2前	2								1
	現代日本語の特質	1・2後	2								1
	ドイツ文学	1・2後	2								1
	江戸時代の衣服	1・2前	2								1
	日本語と英語	1・2前	2								1
	科学史	1・2後	2								1

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	フランス語Ⅰ	1前	1								1
	フランス語Ⅱ	1後	1								1
	フランス語Ⅲ	1前	1								1
	フランス語Ⅳ	1後	1								1
	スペイン語Ⅰ	1前	1								1
	スペイン語Ⅱ	1後	1								1
	スペイン語Ⅲ	1前	1								1
	スペイン語Ⅳ	1後	1								1
	中国語Ⅰ	1前	1								3
	中国語Ⅱ	1後	1								3
	中国語Ⅲ	1前	1								2
	中国語Ⅳ	1後	1								2
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1								4
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1								4
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前	1								3
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後	1								3
	中級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(フランス語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(フランス語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(スペイン語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(中国語)	2・3前	2								1
	中級外国語Ⅱ(中国語)	2・3後	2								1
	中級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2・3前	2								2
	中級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2・3後	2								2
	上級外国語Ⅰ(ドイツ語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(ドイツ語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(フランス語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(フランス語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(スペイン語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(中国語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(中国語)	2・3後	2								1
	上級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)	2・3前	2								1
	上級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)	2・3後	2								1
	海外研修A	1・2・3・4	1								1
	海外研修B	1・2・3・4	2								1
	海外研修C	1・2・3・4	3								1
	海外研修D	1・2・3・4	4								1
	海外研修E	1・2・3・4	5								1
	外国語特殊講義(ドイツ)	3・4	2								1
	外国語特殊講義(フランス)	3・4	2								1
	外国語特殊講義(スペイン)	3・4	2								1
	外国語特殊講義(中国)	3・4	2								1
	外国語特殊講義(韓国・朝鮮)	3・4	2								1
	小計(169科目)	—									
一般 教養 科目	哲学	1・2後	2								1
	倫理学	1・2前	2								1
	美学	1・2前・後	2								1
	芸術学	1・2前・後	2								1
	西洋文学	1・2後	2								1
	日本語学	1・2前	2								1
	心理学	1・2前・後	2								2
	文化論	1・2前	2								1
	文化人類学	1・2前	2								1
	西洋の美術	1・2前・後	2								1
	日本近世文学	1・2後	2								1
	西洋文化論	1・2前	2								1
	人間と生命の倫理学	1・2前	2								1
	人生の探究としての倫理学	1・2前	2								1
愛の倫理的考察	1・2前	2								1	
現代日本語の特質	1・2後	2								1	
ドイツ文学	1・2後	2								1	
江戸時代の衣服	1・2前	2								1	
日本語と英語	1・2前	2								1	
科学史	1・2後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本文学	2・3前		2							1	
	西洋の図像学	2・3前・後		2							1	
	キリスト教倫理	2・3後		2							1	
	芸術文化学	2・3前		2							1	
	江戸時代の服飾	2・3後		2							1	
	日本史	1・2前		2							2	
	西洋史	1・2前		2							1	
	地理学	1・2前		2							1	
	社会学	1・2前		2		1						
	法学	1・2前		2							1	
	政治学	1・2①		2							1	
	経済学	1・2前		2							1	
	情報社会論	1・2前		2							1	
	日本近代史	1・2後		2							1	
	日本近現代史	1・2後		2							1	
	西洋中近世史	1・2後		2							1	
	生活の中の地理学	1・2後		2							1	
	社会学のものの見方と考え方	1・2後		2		1						
	現代経済学	1・2後		2							1	
	情報環境論	1・2後		2							1	
	政党と選挙の政治学	1・2④		2							1	
	歴史と社会	1・2前		2							1	
	歴史人類学	1・2②		2							1	
	中国の歴史と社会	1・2前		2							1	
	近代日本と戦争	1・2④		2							1	
	資産運用の基礎	1・2前		2							1	
	地方行政と法	1・2前		2							1	
	事例で学ぶ民法	1・2前		2							1	
	現代社会と企業法	1・2前		2							1	
	国際社会と法	1・2前		2							1	
	現代社会と刑事法	1・2前		2							1	
	メディア論	2・3前		2							1	
	社会保障論	2・3後		2							1	
	地政学	2・3②		2							1	
	化学	1・2前		2							1	
	生物学	1・2後		2							1	
	環境科学	1・2後		2							1	
	数学	1・2前		2							1	
	応用数学	1・2後		2							1	
	遺伝学の基礎	1・2後		2							1	
	公衆衛生学	1・2後		2							1	
	宇宙と物質と生命の科学	1・2前		2							1	
	自然科学と技術入門	1・2後		2							1	
	動物の自然史と分類	2・3前		2							1	
	小計 (64科目)	—										
スポーツ・健康科目	栄養と健康	1・2前		2							1	
	健康科学論	1・2前		2							2	
	運動科学論	1・2前		2							1	
	健康科学演習	1・2後		2							1	
	運動科学演習	1・2後		2							1	
	健康スポーツ実習 (Shudo AP)	1・2後		1							1	
	健康スポーツ実習 (アダブテッド・スポーツ)	1・2後		1							2	
	健康スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (卓球)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (サッカー)	1・2後		1							1	
	健康スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (ソフトバレーボール)	1・2前		1							1	
	健康スポーツ実習 (テニス)	1・2前		1							1	
	運動スポーツ実習 (アクアティックススポーツ)	1・2後		1							1	
	運動スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前		1							2	
	運動スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前		1							2	
運動スポーツ実習 (フットサル)	1・2前		1							1		
運動スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2後		1							1		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本文学	2・3前		2								1
	西洋の図像学	2・3前・後		2								1
	キリスト教倫理	2・3後		2								1
	芸術文化学	2・3前		2								1
	江戸時代の服飾	2・3後		2								1
	日本史	1・2前・後		2								2
	西洋史	1・2前		2								1
	地理学	1・2前		2								1
	社会学	1・2前		2		1						
	法学	1・2後		2								1
	政治学	1・2①		2								1
	経済学	1・2前・後		2								3
	情報社会論	1・2前		2								1
	日本近代史	1・2後		2								1
	日本近現代史	1・2前		2								1
	西洋中近世史	1・2後		2								1
	生活の中の地理学	1・2後		2								1
	社会学のものの見方と考え方	1・2後		2		1						
	現代経済学	1・2後		2								2
	情報環境論	1・2前		2								1
	政党と選挙の政治学	1・2④		2								1
	歴史と社会	1・2後		2								1
	歴史人類学	1・2③		2								1
	中国の歴史と社会	1・2②		2								1
	近代日本と戦争	1・2④		2								1
	資産運用の基礎	1・2前		2								1
	地方行政と法	1・2前		2								1
	事例で学ぶ民法	1・2後		2								1
	現代社会と企業法	1・2前		2								1
	国際社会と法	1・2前		2								1
	現代社会と刑事法	1・2後		2								1
	メディア論	2・3前		2								1
	社会保障論	2・3後		2								1
	地政学	2・3②		2								1
	化学	1・2前		2								1
	生物学	1・2前		2								1
	環境科学	1・2前		2								1
	数学	1・2前		2								1
	応用数学	1・2後		2								1
	遺伝学の基礎	1・2後		2								1
	公衆衛生学	1・2後		2								1
	宇宙と物質と生命の科学	1・2前		2								1
	自然科学と技術入門	1・2後		2								1
	動物の自然史と分類	2・3後		2								1
	小計 (64科目)	—										
スポーツ・健康科目	スポーツ・健康の栄養学	1・2前		2								1
	健康科学論	1・2前・後		2								2
	運動科学論	1・2前		2								1
	健康科学演習	1・2前		2								1
	運動科学演習	1・2後		2								1
	健康スポーツ実習 (Shudo AP)	1・2前		1								1
	健康スポーツ実習 (アダブテッド・スポーツ)	1・2後		1								2
	健康スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前・後		1								2
	健康スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前・後		1								1
	健康スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2前		1								1
	健康スポーツ実習 (卓球)	1・2前・後		1								2
	健康スポーツ実習 (サッカー)	1・2前・後		1								2
	健康スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2前・後		1								1
	健康スポーツ実習 (ソフトバレーボール)	1・2前・後		1								1
	健康スポーツ実習 (テニス)	1・2前・後		1								2
	健康スポーツ実習 (フィットネス)	1・2前・後		1								2
	健康スポーツ実習 (ユーススポーツ)	1・2前・後		1								1
	運動スポーツ実習 (アクアティックススポーツ)	1・2前・後		1								1
運動スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前・後		1								2	
運動スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前・後		1								2	
運動スポーツ実習 (フットサル)	1・2前・後		1								1	
運動スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2後		1								1	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動スポーツ実習 (ニュースポーツ)	1・2前	1								1	
	運動スポーツ実習 (卓球)	1・2前	1								1	
	運動スポーツ実習 (サッカー)	1・2前	1								1	
	運動スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2後	1								1	
	運動スポーツ実習 (スポーツフィッシング)	1・2後	1								2	
	運動スポーツ実習 (テニス)	1・2前	1								1	
	野外運動実習 I (キャンプ)	1・2前	1								1	
	野外運動実習 I (スキー)	1・2後	1								2	
	野外運動実習 II (キャンプ発展)	1・2前	1								1	
	野外運動実習 II (スキー発展)	1・2後	1								1	
	小計 (30科目)	—										
	キャリアインリア科目	大学生生活とキャリア	1③	1								1
		インターンシップ入門	1④	1								1
		キャリアビジョンとキャリア形成	2・3前	2								1
広島の仕事承継を学ぶ		2・3後	2								1	
小計 (4科目)		—										
データサイエンス科目	データサイエンス概論	1後	2								1	
	情報処理入門	1前	2								1	
	統計学	1・2前	2								1	
	情報化社会と人間	1・2前	2								2	
	情報と知能	1・2前	2								1	
	小計 (5科目)	—										
主専攻科目	現代社会学	1・2後	2			1						
	差別問題論	1前	2								1	
	ヒロシマ文化論 I	1・2前	2								1	
	ヒロシマ文化論 II	1・2後	2								1	
	ジェンダー論	2・3前	2								1	
	女の人間学	2・3後	2								1	
	比較社会学	1・2前	2								1	
	共生社会学	1・2後	2								1	
	ボランティア論	1・2後	2								1	
	社会文化体験演習	2・3通	2			1					4	
	海外体験演習	2・3通	2								1	
	Media English I	2・3前	2								1	
	Media English II	2・3後	2								1	
	Business English I	2・3前	2								3	
	Business English II	2・3後	2								3	
	環境文学論	1・2前	2								1	
	物語と歴史	2・3前	2								1	
	教育文化論	2・3前	2								1	
	芸術文化論	1・2後	2								2	
	社会の中の言語	3・4後	2								1	
	日本文化史 I	1・2前	2								1	
日本文化史 II	1・2後	2								1		
日本文化論 (浮世絵)	1・2前	2								1		
日本文化論 (和紙)	1・2後	2								1		
日本文学演習 I (崩し字解読・平仮名)	1・2前	2								1		
日本文学演習 II (崩し字解読・古典文学)	1・2後	2								1		
日本史演習 I (崩し字解読・漢字)	1・2前	2								1		
日本史演習 II (崩し字解読・古文書)	1・2後	2								1		
日本古典文学論	1・2後	2								1		
西洋文化史	2・3後	2								1		
西洋文化史演習	2・3後	2								1		
小計 (31科目)	—											

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	運動スポーツ実習 (ニュースポーツ)	1・2前	1									2
	運動スポーツ実習 (卓球)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習 (サッカー)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2後	1									1
	運動スポーツ実習 (スポーツフィッシング)	1・2後	1									2
	運動スポーツ実習 (テニス)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習 (バレーボール)	1・2前	1									1
	運動スポーツ実習 (ダンス)	1・2前	1									1
	野外運動実習 I (キャンプ)	2・3前	1									1
	野外運動実習 I (スキー)	2・3後	1									2
	野外運動実習 II (キャンプ発展)	2・3前	1									1
	野外運動実習 II (スキー発展)	2・3後	1									1
	小計 (35科目)	—										
キャリアインリア科目	大学生生活とキャリア	1②	1									2
	インターンシップ入門	1②	1									2
	キャリアビジョンとキャリア形成	2・3前	2									2
	広島の仕事承継を学ぶ	2・3後	2									7
	キャリアデザイン特選講義 (職業選択と自己実現)	2・3前	2									1
	新社会人のキャリアを学ぶ	4前	1									1
小計 (6科目)	—											
データサイエンス科目	データサイエンス概論	1後	2									2
	情報処理入門	1前・後	2									3
	統計学	1・2前	2									1
	情報化社会と人間	1・2前	2									2
	情報と知能	1・2前	2									1
	応用統計学	1・2後	2									2
	情報基礎演習	1・2前・後	2									9
	情報応用演習	1・2前・後	2									4
	プログラミング入門 (python)	1・2前	2									1
	プログラミング入門 (JavaScript)	1・2後	2									1
	プログラミング入門 (マイクロ言語)	1・2後	2									1
	データサイエンス特選講義 (データサイエンス入門演習)	1・2後	2									1
小計 (12科目)	—											
主専攻科目	現代社会学	1・2後	2			1						
	差別問題論	1前	2									1
	ヒロシマ文化論 I	1・2前	2									1
	ヒロシマ文化論 II	1・2後	2									1
	ジェンダー論	2・3前	2									1
	女の人間学	2・3後	2									1
	比較社会学	1・2前	2									1
	共生社会学	1・2後	2									1
	ボランティア論	1・2後	2									1
	社会文化体験演習	2・3通	2			1						2
	海外体験演習	2・3通	2									2
	Media English I	2・3前	2									3
	Media English II	2・3後	2									3
	Business English I	2・3前	2									4
	Business English II	2・3後	2									4
	環境文学論	1・2後	2									1
	物語と歴史	2・3後	2									1
	教育文化論	2・3前	2									1
	芸術文化論	1・2後	2									2
	社会の中の言語	3・4後	2									1
	日本文化史 I	1・2前	2									1
日本文化史 II	1・2後	2									1	
日本文化論 (浮世絵)	1・2前	2									1	
日本文化論 (和紙)	1・2後	2									1	
日本文学演習 I (崩し字解読・平仮名)	1・2前	2									1	
日本文学演習 II (崩し字解読・古典文学)	1・2後	2									1	
日本史演習 I (崩し字解読・漢字)	1・2前	2									1	
日本史演習 II (崩し字解読・古文書)	1・2後	2									1	
日本古典文学論	1・2後	2									1	
西洋文化史	2・3後	2									1	
西洋文化史演習	2・3後	2									1	
小計 (32科目)	—											

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
社会学専門科目	社会学基礎講座	1①	1			1				
	社会学研究入門Ⅰ	1前	2			2	1			
	社会学研究入門Ⅱ	1後	2			2	1			
	社会学方法論	1後	2			1				
	社会学概論	1前	2			1				1
	社会学理論	2前	2			1				
	応用社会学	2・3・4後	2			1				
	コミュニケーション論	2・3・4前	2			1				
	社会意識論	2・3・4前	2			1				
	感情社会学	2・3・4前	2			1				
	比較社会学	2・3・4前	2			1				
	社会学研究法	2後	2			2	2			
小計 (12科目)	—									
社会の諸領域に関する科目	アニメ社会学	2・3・4後	2			1				
	クールジャパン現象研究	2・3・4後	2			1				
	犯罪社会学	2・3・4後	2			1				
	エリア・スタディーズ	2・3・4前	2			1				
	ボーダー・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	国際社会学Ⅰ	2・3・4前	2			1				
	国際社会学Ⅱ	2・3・4後	2			1				
	現代社会論	2・3・4前	2			1				
	産業社会学	2・3・4後	2			1				
	労働社会学	2・3・4後	2			1		1		
	カルチュラル・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	文化社会学	2・3・4前	2			1				
	消費社会論	2・3・4後	2			1				
	感情労働論	2・3・4後	2			1				
	親密性の社会学	2・3・4前	2			1				
	性現象論	2・3・4前	2			1				
	クィア・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	都市社会学	2・3・4前	2							1
	地域社会学	2・3・4後	2							1
	サブカルチャーの社会学	2・3・4前	2							1
	ポップカルチャーの社会学	2・3・4後	2							1
	宗教社会論	2・3・4前	2			1				
	伝統文化論	2・3・4後	2			1				
	マイグレーション・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	社会問題の社会学	2・3・4前	2			1				
	表象文化論	2・3・4後	2							1
	音楽社会学	2・3・4前	2							1
	現代社会学特殊講義	2・3・4前	2							1
	社会学特殊講義	2・3・4後	2							1
小計 (29科目)	—									
社会構想に関する科目	マスメディア論Ⅰ	1・2前	2							1
	マスメディア論Ⅱ	1・2後	2							1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2							1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2							1
	社会安全政策論	1・2前	2			2				5
	社会構想と公共政策	1・2・3・4後	2							4
小計 (6科目)	—									
社会調査関連科目	社会調査概論	1前	2			1				
	社会調査方法論	1後	2			1				
	社会調査論Ⅰ (資料・データ分析)	2前	2			1				
	社会調査論Ⅱ (統計学)	2後	2			1				
	量的社会調査法 (多変量解析)	2前	2							
	質的社会調査法	2後	2			2				
小計 (6科目)	—									
演習科目	コミュニケーション論演習 (メディアと文化)	2・3・4前	2			1				
	コミュニケーション論演習 (メディアと表現)	2・3・4後	2			1				
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4前	2			1				
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4後	2			1				
	アニメ社会学演習 (コンテンツと文化)	2・3・4前	2			1				
	アニメ社会学演習 (ネットコンテンツと文化)	2・3・4後	2			1				
	クールジャパン現象研究演習 (コンテンツと表現)	2・3・4前	2			1				
	クールジャパン現象研究演習 (ネットコンテンツと表現)	2・3・4後	2			1				
	社会意識論演習 (表象文化とジェンダー)	2・3・4前	2			1				
	社会意識論演習 (文化とアイデンティティ)	2・3・4後	2			1				
	小計 (11科目)	—								

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
社会学専門科目	社会学基礎講座	1①②	1			1				
	社会学研究入門Ⅰ	1前	2			2	2			
	社会学研究入門Ⅱ	1後	2			2	2			
	社会学方法論	1後	2			1				1
	社会学概論	1前	2			1				1
	社会学理論	2前	2			1				
	応用社会学 <b>未開講</b>	2・3・4後	2			1				
	コミュニケーション論	2・3・4後	2			1				
	社会意識論 <b>未開講</b>	2・3・4前	2			1				
	感情社会学	2・3・4前	2			1				
	比較社会学	2・3・4前	2			1				
	社会学研究法	2後	2			2	2			
小計 (12科目)	—									
社会の諸領域に関する科目	アニメ社会学	2・3・4前	2			1				
	クールジャパン現象研究 <b>未開講</b>	2・3・4後	2			1				
	犯罪社会学	2・3・4後	2			1				
	エリア・スタディーズ	2・3・4前	2			1				
	ボーダー・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	国際社会学Ⅰ	2・3・4前	2			1				
	国際社会学Ⅱ	2・3・4後	2			1				
	現代社会論	2・3・4前	2			1				
	産業社会学	2・3・4後	2			1				
	労働社会学	2・3・4後	2			1		1		
	カルチュラル・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	文化社会学	2・3・4前	2			1				
	消費社会論 <b>未開講</b>	2・3・4後	2			1				
	感情労働論	2・3・4後	2			1				
	親密性の社会学 <b>未開講</b>	2・3・4前	2			1				
	性現象論 <b>未開講</b>	2・3・4前	2			1				
	クィア・スタディーズ	2・3・4前	2			1				
	都市社会学	2・3・4前	2							1
	地域社会学	2・3・4後	2							1
	サブカルチャーの社会学	2・3・4前	2							1
	ポップカルチャーの社会学	2・3・4後	2							1
	宗教社会論	2・3・4後	2			1				
	伝統文化論	2・3・4前	2			1				
	マイグレーション・スタディーズ	2・3・4後	2			1				
	社会問題の社会学	2・3・4前	2			1				
	表象文化論	2・3・4後	2							1
	音楽社会学	2・3・4前	2							1
	現代社会学特殊講義	2・3・4前	2							1
	社会学特殊講義 <b>現代社会学特殊講義 (ネットメディアと文化)</b>	2・3・4後	2							1
社会学特殊講義 <b>国際移動の社会学</b>	1・2前	2							1	
小計 (29科目)	—									
社会構想に関する科目	マスメディア論Ⅰ	1・2前	2							1
	マスメディア論Ⅱ	1・2後	2							1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前	2							1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2							1
	社会安全政策論	1・2前	2			2				16
	社会構想と公共政策	1・2・3・4後	2							4
小計 (6科目)	—									
社会調査関連科目	社会調査概論	1前	2			1				
	社会調査方法論	1後	2			1				
	社会調査論Ⅰ (資料・データ分析)	2前	2			1				
	社会調査論Ⅱ (統計学)	2後	2			1				
	量的社会調査法 (多変量解析)	2前	2							
	質的社会調査法	2後	2			2				1
小計 (6科目)	—									
演習科目	コミュニケーション論演習 (メディアと文化)	2・3・4前	2			1				
	コミュニケーション論演習 (メディアと表現)	2・3・4後	2			1				
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4前	2			1				
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4後	2			1				
	アニメ社会学演習 (コンテンツと文化)	2・3・4前	2			1				
	アニメ社会学演習 (ネットコンテンツと文化)	2・3・4後	2			1				
	クールジャパン現象研究演習 (コンテンツと表現)	2・3・4前	2			1				
	クールジャパン現象研究演習 (ネットコンテンツと表現)	2・3・4後	2			1				
	社会意識論演習 (表象文化とジェンダー)	2・3・4前	2			1				
	社会意識論演習 (文化とアイデンティティ)	2・3・4後	2			1				
	小計 (11科目)	—								

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	社会意識論演習 (法制度とジェンダー)	2-3-4前	2			1						
	社会意識論演習 (仕事と生活の調和)	2-3-4後	2			1						
	犯罪社会学演習 (社会的排除と不平等)	2-3-4前	2			1						
	犯罪社会学演習 (管理される性と生)	2-3-4後	2			1						
	犯罪社会学演習 (逸脱の医療化)	2-3-4前	2			1						
	犯罪社会学演習 (防犯対策とコミュニティ)	2-3-4後	2			1						
	国際社会学演習 (グローバル化と社会変)	2-3-4前	2			1						
	国際社会学演習 (西欧とアジア)	2-3-4後	2			1						
	国際社会学演習 (非西欧と脱西欧化)	2-3-4前	2			1						
	国際社会学演習 (国際システムと国民国家)	2-3-4後	2			1						
	エリア・スタディーズ演習 (グローバル化と東アジア)	2-3-4前	2			1						
	エリア・スタディーズ演習 (移住/貿易/観光)	2-3-4前	2			1						
	ボーダー・スタディーズ演習 (日本の中のボーダー)	2-3-4後	2			1						
	ボーダー・スタディーズ演習 (アジアの内部/アジアの外)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (イデオロギーとしての公正・安全・環境)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (再帰的近代と社会不安)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (社会構造の変動と価値変容)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (グローバル化と生活世界の変容)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (日常生活における意味と)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (イデオロギーと)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (階級とジェン)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (サブカルチャーと)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (自由と差別)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (人種差別に抵抗する音楽)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (ブラック・ミュージックと抵抗)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (無意識の植民地主義)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (仕事におけるメンタルヘル)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (心理学化/医療化する社会)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (医療化と脱医療化)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (病気と健康の構築)	2-3-4後	2			1						
	労働社会学演習 (雇用の流動化と格差社会)	2-3-4前	2			1						
	労働社会学演習 (仕事とジェンダー)	2-3-4後	2			1						
	労働社会学演習 (仕事をめぐるジェネレーションギャ)	2-3-4前	2			1						
	労働社会学演習 (新しい労働運動)	2-3-4後	2			1						
	感情社会学演習 (ジェンダーとアイデンティ)	2-3-4前	2			1						
	感情社会学演習 (模倣と変身)	2-3-4後	2			1						
	感情社会学演習 (外見・装飾の演出)	2-3-4前	2			1						
	感情社会学演習 (対人労働のスキル)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (ホームの社会学)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (家族と表象をめぐるジェンダ)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とジェンダ)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とセクシュアリティ)	2-3-4後	2			1						
	性現象論演習 (ジェンダーと文化)	2-3-4前	2			1						
	性現象論演習 (セクシュアリティと文化)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィア理論とい)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィアをめぐる視)	2-3-4後	2			1						
	産業社会学演習 (産業構造の転換と市場経済の変容)	2-3-4後	2			1						
	産業社会学演習 (グローバル化とポスト産業社会)	2-3-4後	2			1						
	消費社会学演習 (モード/ファッション/トレンド/ブ)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (ハビトゥス/身体化/ディスタンス)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (ヒドゥン/身体化/ディスタンス)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (日本の祭り・行事)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (パワースポットとツーリス)	2-3-4後	2			1						
	宗教社会学演習 (神話・伝説・物語の世界)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (キリスト教と文化)	2-3-4後	2			1						
	伝統文化論演習 (歴史・民俗とまちづくり)	2-3-4前	2			1						
	伝統文化論演習 (民俗学の視点と方法)	2-3-4後	2			1						
	伝統文化論演習 (都市の民俗学)	2-3-4前	2			1						
	伝統文化論演習 (地域文化とレジリエン)	2-3-4後	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民をめぐる政治と)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民政策と社会)	2-3-4後	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (広域と移民の)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (国内移住とライフ)	2-3-4後	2			1						
	社会問題の社会学演習 (個人社会と自己責任)	2-3-4前	2			1						
	社会問題の社会学演習 (社会的排除/包摂)	2-3-4後	2			1						
	社会問題の社会学演習 (疎外と自己アイデンティ)	2-3-4前	2			1						
	社会問題の社会学演習 (デジタル化によって構成されていく)	2-3-4後	2			1						
	比較社会学演習 (多文化社会の理論)	2-3-4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	社会意識論演習 (法制度とジェンダー)	2-3-4前	2			1						
	社会意識論演習 (仕事と生活の調和)	2-3-4後	2			1						
	犯罪社会学演習 (社会的排除と不平等)	2-3-4前	2			1						
	犯罪社会学演習 (管理される性と生)	2-3-4後	2			1						
	犯罪社会学演習 (逸脱の医療化)	2-3-4前	2			1						
	犯罪社会学演習 (防犯対策とコミュニティ)	2-3-4後	2			1						
	国際社会学演習 (グローバル化と社会変)	2-3-4前	2			1						
	国際社会学演習 (西欧とアジア)	2-3-4後	2			1						
	国際社会学演習 (非西欧と脱西欧化)	2-3-4前	2			1						
	国際社会学演習 (国際システムと国民国家)	2-3-4後	2			1						
	エリア・スタディーズ演習 (グローバル化と東アジア)	2-3-4前	2			1						
	エリア・スタディーズ演習 (移住/貿易/観光)	2-3-4前	2			1						
	ボーダー・スタディーズ演習 (日本の中のボーダー)	2-3-4後	2			1						
	ボーダー・スタディーズ演習 (アジアの内部/アジアの外)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (イデオロギーとしての公正・安全・環境)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (再帰的近代と社会不安)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (社会構造の変動と価値変容)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (グローバル化と生活世界の変容)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (日常生活における意味と)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (イデオロギーと)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (階級とジェン)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (サブカルチャーと)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (自由と差別)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (人種差別に抵抗する音楽)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (ブラック・ミュージックと抵抗)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (無意識の植民地主義)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (仕事におけるメンタルヘル)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (心理学化/医療化する社会)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (医療化と脱医療化)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (病気と健康の構築)	2-3-4後	2			1						
	労働社会学演習 (雇用の流動化と格差社会)	2-3-4前	2			1						
	労働社会学演習 (仕事とジェンダー)	2-3-4後	2			1						
	労働社会学演習 (仕事をめぐるジェネレーションギャ)	2-3-4前	2			1						
	労働社会学演習 (新しい労働運動)	2-3-4後	2			1						
	感情社会学演習 (ジェンダーとアイデンティ)	2-3-4前	2			1						
	感情社会学演習 (模倣と変身)	2-3-4後	2			1						
	感情社会学演習 (外見・装飾の演出)	2-3-4前	2			1						
	感情社会学演習 (対人労働のスキル)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (ホームの社会学)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (家族と表象をめぐるジェンダ)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とジェンダ)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とセクシュアリティ)	2-3-4後	2			1						
	性現象論演習 (ジェンダーと文化)	2-3-4前	2			1						
	性現象論演習 (セクシュアリティと文化)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィア理論とい)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィアをめぐる視)	2-3-4後	2			1						
	産業社会学演習 (産業構造の転換と市場経済の変容)	2-3-4後	2			1						
	産業社会学演習 (グローバル化とポスト産業社会)	2-3-4後	2			1						
	消費社会学演習 (モード/ファッション/トレンド/ブ)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (ハビトゥス/身体化/ディスタンス)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (ヒドゥン/身体化/ディスタンス)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (日本の祭り・行事)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (パワースポットとツーリス)	2-3-4後	2			1						
	宗教社会学演習 (神話・伝説・物語の世界)	2-3-4前	2			1						
	宗教社会学演習 (キリスト教と文化)	2-3-4後	2			1						
	伝統文化論演習 (歴史・民俗とまちづくり)	2-3-4前	2			1						
	伝統文化論演習 (民俗学の視点と方法)	2-3-4後	2			1						
	伝統文化論演習 (都市の民俗学)	2-3-4前	2			1						
	伝統文化論演習 (地域文化とレジリエン)	2-3-4後	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民をめぐる政治と)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民政策と社会)	2-3-4後	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (広域と移民の)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (国内移住とライフ)	2-3-4後	2			1						
	社会問題の社会学演習 (個人社会と自己責任)	2-3-4前	2			1						
	社会問題の社会学演習 (社会的排除/包摂)	2-3-4後	2			1						
	社会問題の社会学演習 (疎外と自己アイデンティ)	2-3-4前	2			1						
	社会問題の社会学演習 (デジタル化によって構成されていく)	2-3-4後	2			1						
	比較社会学演習 (多文化社会の理論)	2-3-4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
比較社会学演習 (人種と民族)	比較社会学演習 (人種と民族)	2・3・4後	2			1					
	比較社会学演習 (歴史と記憶)	2・3・4前	2			1					
	比較社会学演習 (多文化社会としての日本)	2・3・4後	2			1					
	量的社会調査演習	3通	4			1					
	質的社会調査演習	3通	4			2					
	社会学文献講読演習Ⅰ	3・4①	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅱ	3・4②	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅲ	3・4③	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅳ	3・4④	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅰ	3・4①	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅱ	3・4②	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅲ	3・4③	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅳ	3・4④	2					1			
	社会学特論演習 (外国人と日本社会)	2・3・4前	2			1					
	社会学特論演習 (現代日本社会におけるエッセンス)	2・3・4後	2			1					
	社会学特論演習 (ネットワーク分析の理論と方法)	2・3・4前	2			1					
	社会学特論演習 (社会的格差と貧困)	2・3・4後	2			1					
	卒業研究	4通	4			8	3		1		
	小計 (95科目)	—									
	特殊演習科目	応用社会学特殊演習	2・3前	2							1
		マスメディア論特殊演習	2・3前	2							1
ジャーナリズム論特殊演習		2・3後	2							1	
社会安全政策論特殊演習		2・3後	2		2					1	
小計 (4科目)		—									
社会学情報処理科目	情報リテラシー	1前	2							4	
	社会学情報処理Ⅰ	1前	2							3	
	社会学情報処理Ⅱ	1後	2							3	
	社会学情報処理Ⅲ	2・3前	2							1	
	社会学情報処理Ⅳ	2・3後	2							1	
	社会学情報処理Ⅴ	2・3後	2							1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅰ	2・3前	2							1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅱ	2・3後	2							1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅲ	2・3前	2							2	
	社会学情報処理特殊講義Ⅳ	2・3前	2							2	
	社会学情報処理特殊講義Ⅴ	2・3後	2							1	
	Web調査論	2・3前	2							1	
	社会学情報処理特殊演習Ⅰ	2・3前	2							1	
	社会学情報処理特殊演習Ⅱ	2・3後	2							1	
小計 (14科目)	—										
資格課程に関する科目	教育原理	1前		2						1	
	教職入門	1前		2						1	
	教育心理学	2前		2						2	
	教育制度・教育課程論	1後		2						1	
	特別なニーズ教育の基礎と方法	1後		2						1	
	道徳教育論	2後		2						2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2						1	
	教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)	2後		2						1	
	生徒・進路指導論	2後		2						1	
	教育相談	2後		2						1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通		1						2	
	中等教育実習Ⅰ	3・4通		2						1	
	中等教育実習Ⅱ	4通		2						1	
	教職実践演習 (中・高)	4後		2						1	
	人権教育論	1後		2						1	
	社会福祉論	2前		2						1	
	特別支援教育概論	2後		2						1	
中等社会科教育法 (地理歴史分野)	3後		2						2		
社会科・地理歴史科教育法	3後		2						2		
中等社会科教育法 (公民分野)	3前		2						2		
社会科・公民科教育法	3後		2						1		
小計 (21科目)	—										
合計 (454科目)	—										
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目20単位以上 (地域理解科目1単位以上、国際理解科目4単位以上、一般教養科目4単位以上、キャリアデザイン科目1単位以上を含む)、主専攻科目84単位以上 (人文学部総合科目12単位以上、専門講義科目40単位以上及び専門演習科目12単位以上並びに社会学情報処理科目6単位以上を含む社会学専門科目を64単位以上) を修得し、124単位以上を修得すること。履修制限単位数: 前期または後期24単位 (ただし4年次に限り28単位)、年間44単位											

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
比較社会学演習 (人種と民族)	比較社会学演習 (人種と民族)	2・3・4後	2			1					
	比較社会学演習 (歴史と記憶)	2・3・4前	2			1					
	比較社会学演習 (多文化社会としての日本)	2・3・4後	2			1					
	量的社会調査演習	3通	4			1					
	質的社会調査演習	3通	4			2					
	社会学文献講読演習Ⅰ	3・4①	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅱ	3・4②	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅲ	3・4③	2					1			
	社会学文献講読演習Ⅳ	3・4④	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅰ	3・4①	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅱ	3・4②	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅲ	3・4③	2					1			
	社会学英書講読演習Ⅳ	3・4④	2					1			
	社会学特論演習 (外国人と日本社会)	2・3・4前	2			1					
	社会学特論演習 (現代日本社会におけるエッセンス)	2・3・4後	2			1					
	社会学特論演習 (ネットワーク分析の理論と方法)	2・3・4前	2			1					
	社会学特論演習 (社会的格差と貧困)	2・3・4後	2			1					
	卒業研究	4通	4			8	3		1		
	小計 (95科目)	—									
	特殊演習科目	応用社会学特殊演習	2・3前	2							1
		マスメディア論特殊演習	2・3前	2							1
ジャーナリズム論特殊演習		2・3後	2							1	
社会安全政策論特殊演習		2・3後	2		2					16	
小計 (4科目)		—									
社会学情報処理科目	情報リテラシー	1前	後	2						5	
	社会学情報処理Ⅰ	1前	後	2						5	
	社会学情報処理Ⅱ	1前	後	2						5	
	社会学情報処理Ⅲ	2・3前		2						1	
	社会学情報処理Ⅳ	2・3後		2						1	
	社会学情報処理Ⅴ	2・3後		2						1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅰ	2・3前		2						1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅱ	2・3後		2						1	
	社会学情報処理特殊講義Ⅲ	2・3前		2						2	
	社会学情報処理特殊講義Ⅳ	2・3前		2						2	
	社会学情報処理特殊講義Ⅴ	2・3後		2						1	
	Web調査論	2・3前		2						1	
	社会学情報処理特殊演習Ⅰ	2・3後		2						1	
	社会学情報処理特殊演習Ⅱ	2・3後		2						1	
小計 (14科目)	—										
資格課程に関する科目	教育原理	1前		2						1	
	教職入門	1前		2						1	
	教育心理学	2前		2						2	
	教育制度・教育課程論	1後		2						1	
	特別なニーズ教育の基礎と方法	1前	後	2						1	
	道徳教育論	2前	後	2						2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前	後	2						1	
	教育方法論 (情報通信技術の活用を含む)	2前	後	2						1	
	生徒・進路指導論	2後		2						1	
	教育相談	2前	後	2						1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通		1						2	
	中等教育実習Ⅰ	3・4通		2						1	
	中等教育実習Ⅱ	4通		2						1	
	教職実践演習 (中・高)	4後		2						1	
	人権教育論	1後		2						1	
	社会福祉論	2前		2						1	
	特別支援教育概論	1後		2						1	
中等社会科教育法 (地理歴史分野)	2前	後	2						2		
社会科・地理歴史科教育法	2前	後	2						2		
中等社会科教育法 (公民分野)	3前		2						2		
社会科・公民科教育法	3後		2						1		
小計 (21科目)	—										
合計 (508科目)	—										
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目20単位以上 (地域理解科目1単位以上、国際理解科目4単位以上、一般教養科目4単位以上、キャリアデザイン科目1単位以上を含む)、主専攻科目84単位以上 (人文学部総合科目12単位以上、専門講義科目40単位以上及び専門演習科目12単位以上並びに社会学情報処理科目6単位以上を含む社会学専門科目を64単位以上) を修得し、124単位以上を修得すること。履修制限単位数: 前期または後期24単位 (ただし4年次に限り28単位)、年間44単位											

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	地域理解	広島修道大学と広島	1①	1							4
		広島と平和	1-2②	1							1
		広島の防災と法務	2-3後	2							1
		小計 (3科目)	—								
国際理解科目	日本語Ⅰ	1-2前	1								1
	日本語Ⅱ	1-2後	1								1
	日本語Ⅲ	1-2前	1								1
	日本語Ⅳ	1-2後	1								1
	日本語Ⅴ	1-2前	1								1
	日本語Ⅵ	1-2後	1								1
	日本語Ⅶ	1-2前	1								1
	日本語Ⅷ	1-2後	1								1
	アカデミック日本語	1-2前	2								1
	ビジネス日本語	1-2後	2								1
	漢字入門Ⅰ	1-2前	1								1
	漢字入門Ⅱ	1-2後	1								1
	留学生アカデミックスキル	1-2前	2								1
	留学生キャリア形成	1-2後	2								1
	留学スタートアップ	1-2①・③	1								1
	留学フォローアップ	1-2①・③	1								1
	中長期スタディ・アブロード (入門)	1-2前	2								1
	中長期スタディ・アブロード (事前)	1-2前	2								1
	中長期スタディ・アブロード (事後)	1-2①・③	1								1
	ヨーロッパ言語留学入門	1-2②	1								2
	英語留学入門	1-2①・③	1								1
	アジア留学入門	1-2①・③	1								3
	外国語としての日本語 (日本語教育)	1-2前	2								1
	外国語としての日本語 (多文化共生)	1-2後	2								1
	Multicultural Project (Contemporary Issues in Japanese Society)	1-2前	2								1
	Multicultural Project (Images of Japan in Western Cinema)	1-2後	2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society I)	1-2前	2								1
	Multicultural Project (Popular Music in Japanese Society II)	1-2後	2								1
	Multicultural Project (Video Games Studies)	1-2後	2								1
	多文化交流プロジェクト (多文化理解)	1-2前	2								1
	多文化交流プロジェクト (地方の魅力)	1-2前	2								1
	多文化交流プロジェクト (広島再発見)	1-2後	2								1
	多文化交流プロジェクト (現代の社会)	1-2後	2								1
	多文化交流プロジェクト (言語と文化)	1-2後	2								1
	多文化交流プロジェクト (オンライン交流)	1-2前	2								1
	言語と文化 英語の歴史と文化Ⅰ)	1-2前	2								1
	言語と文化 英語の歴史と文化Ⅱ)	1-2後	2								1
	言語と文化 英語学入門Ⅰ)	1-2前	2								1
	言語と文化 英語学入門Ⅱ)	1-2後	2								1
	言語と文化 英語と日本語の音声)	1-2後	2								1
	留学英語入門 海外生活Ⅰ)	1-2前	2								1
	留学英語入門 海外生活Ⅱ)	1-2後	2								1
言語文化特殊講義Ⅰ (ドイツ語)	2-3前	2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (ドイツ語)	2-3後	2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (フランス語)	2-3前	2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (フランス語)	2-3後	2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (スペイン語)	2-3前	2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (スペイン語)	2-3後	2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (中国語)	2-3前	2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (中国語)	2-3後	2								1	
言語文化特殊講義Ⅰ (韓国・朝鮮語)	2-3前	2								1	
言語文化特殊講義Ⅱ (韓国・朝鮮語)	2-3後	2								1	
JAPANヒックス 政治)	1-2①	1								1	
JAPANヒックス 社会)	1-2②	1								1	
JAPANヒックス 経済)	1-2③	1								1	
JAPANヒックス 環境)	1-2④	1								1	
ことばと社会	1-2前	2								1	
英語Ⅰ (リーディング・ライティング)	1前			1						1	
英語Ⅱ (リーディング・ライティング)	1後			1						1	
英語Ⅲ (リスニング・スピーキング)	1前			1						1	
英語Ⅳ (リスニング・スピーキング)	1後			1						1	
アクティブ・イングリッシュⅠ	1-2前			1						1	

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	アクティブ・イングリッシュII		1	2	後							1
	英語ライティングI	1・2前		2								1
	英語ライティングII	1・2後		2								1
	英語ライティングIII	1・2前		2								1
	英語ライティングIV	1・2後		2								1
	英語聴解I	1・2前		2								1
	英語聴解II	1・2後		2								1
	英語聴解III	1・2前		2								1
	英語聴解IV	1・2後		2								1
	英語読解I	1・2前		2								1
	英語読解II	1・2後		2								1
	英語読解III	1・2前		2								1
	英語読解IV	1・2後		2								1
	アカデミック・リーディングI	1・2前			2							1
	アカデミック・リーディングII	1・2後			2							1
	英語コミュニケーション入門I	1・2前		1								1
	英語コミュニケーション入門II	1・2後		1								1
	英語コミュニケーションI	1・2前		2								1
	英語コミュニケーションII	1・2後		2								1
	英語コミュニケーションIII	1・2前		2								1
	英語コミュニケーションIV	1・2後		2								1
	英語コミュニケーションV	1・2前		2								1
	英語コミュニケーションVI	1・2後		2								1
	英語文法入門I	1・2前		1								1
	英語文法入門II	1・2後		1								1
	英語語法I	1・2前		2								1
	英語語法II	1・2後		2								1
	英語語法III	1・2前		2								1
	英語語法IV	1・2後		2								1
	資格英語入門I	1・2前		1								1
	資格英語入門II	1・2後		1								1
	資格英語I	1・2前		2								1
	資格英語II	1・2後		2								1
	資格英語III	1・2前		2								1
	資格英語IV	1・2後		2								1
	資格英語V	1・2前		2								1
	資格英語VI	1・2後		2								1
	英語プレゼンテーションI	1・2前			2							1
	英語プレゼンテーションII	1・2後			2							1
	英語ディスカッションI	1・2前		2								1
	英語ディスカッションII	1・2後		2								1
	英語ディスカッションIII	1・2前		2								1
	英語ディスカッションIV	1・2後		2								1
	英語ディスカッションV	1・2前		2								1
	英語ディスカッションVI	1・2後		2								1
	時事英語I	1・2前		2								1
	時事英語II	1・2後		2								1
	時事英語III	1・2前		2								1
	時事英語IV	1・2後		2								1
	時事英語V	1・2前		2								1
	時事英語VI	1・2後		2								1
	ビジネス英語I	1・2前		2								1
	ビジネス英語II	1・2後		2								1
	ビジネス英語III	1・2前		2								1
	ビジネス英語IV	1・2後		2								1
	ビジネス英語V	1・2前		2								1
	ビジネス英語VI	1・2後		2								1
	ドイツ語I	1前		1								1
	ドイツ語II	1後		1								1
	ドイツ語III	1前		1								1
	ドイツ語IV	1後		1								1
	フランス語I	1前		1								1
	フランス語II	1後		1								1
	フランス語III	1前		1								1
	フランス語IV	1後		1								1
	スペイン語I	1前		1								1
	スペイン語II	1後		1								1

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	スペイン語Ⅲ	1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前		1							2
	中国語Ⅱ	1後		1							1
	中国語Ⅲ	1前		1							1
	中国語Ⅳ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前		1							2
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後		1							2
	中級外国語Ⅰ（ドイツ語）	2・3前		2							1
	中級外国語Ⅱ（ドイツ語）	2・3後		2							1
	中級外国語Ⅰ（フランス語）	2・3前		2							1
	中級外国語Ⅱ（フランス語）	2・3後		2							1
	中級外国語Ⅰ（スペイン語）	2・3前		2							1
	中級外国語Ⅱ（スペイン語）	2・3後		2							1
	中級外国語Ⅰ（中国語）	2・3前		2							1
	中級外国語Ⅱ（中国語）	2・3後		2							1
	中級外国語Ⅰ（韓国・朝鮮語）	2・3前		2							1
	中級外国語Ⅱ（韓国・朝鮮語）	2・3後		2							1
	上級外国語Ⅰ（ドイツ語）	2・3前		2							1
	上級外国語Ⅱ（ドイツ語）	2・3後		2							1
	上級外国語Ⅰ（フランス語）	2・3前		2							1
	上級外国語Ⅱ（フランス語）	2・3後		2							1
	上級外国語Ⅰ（スペイン語）	2・3前		2							1
	上級外国語Ⅱ（スペイン語）	2・3後		2							1
	上級外国語Ⅰ（中国語）	2・3前		2							1
	上級外国語Ⅱ（中国語）	2・3後		2							1
	上級外国語Ⅰ（韓国・朝鮮語）	2・3前		2							1
	上級外国語Ⅱ（韓国・朝鮮語）	2・3後		2							1
	海外研修A	1・2・3・4		1							1
	海外研修B	1・2・3・4		2							1
	海外研修C	1・2・3・4		3							1
	海外研修D	1・2・3・4		4							1
	海外研修E	1・2・3・4		5							1
	小計（164科目）	—									
一 般 教 養 科 目	哲学	1・2後		2							1
	倫理学	1・2後		2							1
	美学	1・2前		2							1
	芸術学	1・2前		2							1
	西洋文学	1・2後		2							2
	日本語学	1・2前		2							1
	心理学	1・2前・後		2							2
	文化論	1・2前		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	西洋の美術	1・2前		2							1
	日本近世文学	1・2後		2							1
	西洋文化論	1・2前		2							1
	人間と生命の倫理学	1・2前		2							1
	人生の探究としての倫理学	1・2前		2							1
	愛の倫理学的考察	1・2前		2							1
	現代日本語の特質	1・2後		2							1
	ドイツ文学	1・2後		2							1
	江戸時代の衣服	1・2前		2							1
	日本語と英語	1・2前		2							1
	科学史	1・2前		2							1
	日本文学	2・3前		2							1
	西洋の図像学	2・3前・後		2							1
	キリスト教倫理	2・3後		2							1
	芸術文化学	2・3前		2							1
	江戸時代の服飾	2・3後		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	西洋史	1・2前		2							1
地理学	1・2前		2							1	
社会学	1・2前		2			1					
法学	1・2前		2							1	
政治学	1・2①		2							1	

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	経済学	1・2前	2								1
	情報社会論	1・2前	2								1
	日本近代史	1・2後	2								1
	日本近現代史	1・2前	2								1
	西洋中近世史	1・2後	2								1
	生活の中の地理学	1・2後	2								1
	社会学のものの見方と考え方	1・2後	2			1					
	現代経済学	1・2後	2								1
	情報環境論	1・2後	2								1
	政党と選挙の政治学	1・2②	2								1
	歴史と社会	1・2前	2								1
	歴史人類学	1・2②	2								1
	中国の歴史と社会	1・2②	2								1
	近代日本と戦争	1・2④	2								1
	資産運用の基礎	集中	2								1
	地方行政と法	1・2前	2								1
	事例で学ぶ民法	1・2後	2								1
	現代社会と企業法	1・2前	2								1
	国際社会と法	1・2前	2								1
	現代社会と刑事法	1・2後	2								1
	メディア論	2・3前	2								1
	社会保障論	2・3後	2								1
	地政学	2・3②	2								1
	地方の現状と行方	2・3②	2								2
	化学	1・2前	2								1
	生物学	1・2前	2								1
	環境科学	1・2前	2								1
	数学	1・2前	2								1
	応用数学	1・2後	2								1
	遺伝学の基礎	1・2後	2								1
	公衆衛生学	1・2後	2								1
	宇宙と物質と生命の科学	1・2後	2								1
	自然科学と技術入門 未開講	1・2後	2								1
	動物の自然史と分類	2・3後	2								1
	小計 (65科目)	—									
スポーツ・健康科目	スポーツ 健康の栄養学	1・2前	2								1
	健康科学論	1・2前	2								2
	運動科学論	1・2前	2								1
	健康科学演習	1・2前	2								1
	運動科学演習	1・2後	2								1
	健康スポーツ実習 (Shudo AP)	集中	1								1
	健康スポーツ実習 (アダブテッド・スポーツ)	1・2後	1								2
	健康スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前	1		1						1
	健康スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2前	1		1						1
	健康スポーツ実習 (卓球)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習 (サッカー)	1・2後	1		1						1
	健康スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2前	1		1						1
	健康スポーツ実習 (ソフトバレーボール)	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習 (テニス)	1・2前	1								1
	健康スポーツ実習 ウィットネス	1・2後	1								1
	健康スポーツ実習 ニュースポーツ	1・2後	1								1
	運動スポーツ実習 (アクアティックスポーツ)	1・2後	1								1
	運動スポーツ実習 (バドミントン)	1・2前	1								2
	運動スポーツ実習 (バスケットボール)	1・2前	1								2
	運動スポーツ実習 (フットサル)	1・2前	1		1						1
	運動スポーツ実習 (ゴルフ)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習 (ニュースポーツ)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習 (卓球)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習 (サッカー)	1・2前	1		1						1
	運動スポーツ実習 (ソフトボール)	1・2後	1		1						1
	運動スポーツ実習 (スポーツフィッシング)	1・2後	1								2
	運動スポーツ実習 (テニス)	1・2後	1								1
	運動スポーツ実習 ウィットネス	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習 (バレーボール)	1・2前	1								1
	運動スポーツ実習 (ダンス)	1・2前	1								1
	野外運動実習 I (キャンプ)	1・2前	1		1						1

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主専攻科目	野外運動実習Ⅰ（スキー）	1・2後		1							2	
	野外運動実習Ⅱ（キャンプ発展）	1・2前		1							1	
	野外運動実習Ⅱ（スキー発展）	1・2後		1							1	
	小計（35科目）	—										
	キャリア イリア ン科目	大学生活とキャリア	1①		1							2
		インターンシップ入門	1②		1							1
		キャリアビジョンとキャリア形成	2・3前		2							1
		広島の実業承継を学ぶ	2・3後		2							1
		キャリアデザイン特別講義 職業選択と自己実現	2・3前		2							1
		新社会人のキャリアを学ぶ	4前		1							1
		小計（6科目）	—									
	デー タサイ エンス 科目	データサイエンス概論	1後		2							2
		情報処理入門	1前・後		2							1
		統計学	1・2前		2							1
		情報化社会と人間	1・2前		2							2
		情報と知能	1・2前		2							1
		応用統計学	1・2後		2							1
		情報基礎演習	1・2前・後		2							1
		情報応用演習	1・2前・後		2							1
		データサイエンス特別講義（データサイエンス入門 実習）	1・2後		2							1
	小計（9科目）	—										
	人文学部 総合科目	現代社会学	1・2後		2		1					1
		差別問題論	1前		2							1
		ヒロシマ文化論Ⅰ	1・2前		2							1
		ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後		2							1
		ジェンダー論	2・3前		2							1
		女の人間学	2・3後		2							1
		比較社会論	1・2前		2							1
		共生社会論	1・2後		2							1
		ボランティア論	1・2後		2							1
社会文化体験演習		2・3通		2		1					4	
海外体験演習		2・3通		2							1	
Media English I		2・3前		2							1	
Media English II		2・3後		2							1	
Business English I		2・3前		2							3	
Business English II		2・3後		2							3	
環境文学論		1・2前		2							1	
物語と歴史		2・3前		2							1	
教育文化論		2・3前		2							1	
芸術文化論		1・2後		2							2	
社会の中の言語		3・4後		2							1	
日本文化史Ⅰ		1・2前		2							1	
日本文化史Ⅱ		1・2後		2							1	
日本文化論（浮世絵）		1・2前		2							1	
日本文化論（和紙）		1・2後		2							1	
日本文学演習Ⅰ（崩し字解読・平仮名）		1・2前		2							1	
日本文学演習Ⅱ（崩し字解読・古典文学）		1・2後		2							1	
日本史演習Ⅰ（崩し字解読・漢字）		1・2前		2							1	
日本史演習Ⅱ（崩し字解読・古文書）	1・2後		2							1		
日本古典文学論	1・2後		2							1		
西洋文化史	2・3後		2							1		
西洋文化史演習	2・3後		2							1		
小計（31科目）	—											
社会 学専 門科 目	社会学基礎講座	1①	1			1						
	社会学研究入門Ⅰ	1前	2			2	1					
	社会学研究入門Ⅱ	1後	2			2	1					
	社会学方法論	1後	2			1						
	社会学概論	1前	2			1						
	社会学理論	2前	2			1						
	応用社会学	2・3・4後	2			1						
	コミュニケーション論	2・3・4前	2			1						
	社会意識論	2・3・4前	2			1						
	感情社会学	2・3・4前	2			1						
	比較社会学	2・3・4前	2				1					
	社会学研究法	2後	2			2	2					
	小計（12科目）	—										
社会	アニメ社会学	2・3・4前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
の諸領域に関する科目	クールジャパン現象研究	2・3・4後		2		1						
	犯罪社会学	2・3・4後		2		1						
	エリア・スタディーズ	2・3・4前		2		1						
	ボーダー・スタディーズ	2・3・4後		2		1						
	国際社会学Ⅰ	2・3・4前		2		1						
	国際社会学Ⅱ	2・3・4後		2		1						
	現代社会学	2・3・4前		2		1						
	産業社会学	2・3・4後		2		1						
	労働社会学	2・3・4前		2			1					
	カルチュラル・スタディーズ	2・3・4後		2		1						
	文化社会学	2・3・4前		2		1						
	消費社会学	2・3・4後		2		1						
	感情労働論	2・3・4後		2		1						
	親密性の社会学	2・3・4前		2		1						
	性現象論	2・3・4前		2		1						
	クエア・スタディーズ	2・3・4後		2		1						
	都市社会学	2・3・4前		2								1
	地域社会学	2・3・4後		2								1
	サブカルチャーの社会学	2・3・4前		2								1
	ポップカルチャーの社会学	2・3・4後		2								1
	宗教社会学	2・3・4後		2			1					
	伝統文化論	2・3・4前		2			1					
	マイグレーション・スタディーズ	2・3・4後		2			1					
	社会問題の社会学	2・3・4前		2			1					
	表象文化論	2・3・4後		2								1
	音楽社会学	2・3・4前		2								1
現代社会学特殊講義 多様な性と教育をめぐって(社会学)	2・3・4前		2								1	
現代社会学特殊講義 音楽と社会	2・3・4前		2								1	
社会学特殊講義 社会環境論	2・3・4前		2								1	
小計 (30科目)												
社会構想に関する科目	マスメディア論Ⅰ	1・2前		2								1
	マスメディア論Ⅱ	1・2後		2								1
	ジャーナリズム論Ⅰ	1・2前		2								1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後		2								1
	社会安全政策論	1・2前		2		2						3
	社会構想と公共政策	1・2・3・4前		2								4
小計 (6科目)												
社会調査関連科目	社会調査概論	1前	2			1						
	社会調査方法論	1後	2			1						
	社会調査論Ⅰ (資料・データ分析)	2前		2		1						
	社会調査論Ⅱ (統計学)	2後		2		1						
	量的社会調査法 (多変量解析)	2前		2								
	質的社会調査法	2後		2			2					
小計 (6科目)												
演習科目	コミュニケーション論演習 (メディアと文化)	2・3・4前		2		1						
	コミュニケーション論演習 (メディアと文化)	2・3・4後		2		1						
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4前		2		1						
	コミュニケーション論演習 (ネットメディア)	2・3・4後		2		1						
	アニメ社会学演習 (コンテンツと文化)	2・3・4前		2		1						
	アニメ社会学演習 (ネットコンテンツと文化)	2・3・4後		2		1						
	クールジャパン現象研究演習 (コンテンツと文化)	2・3・4前		2		1						
	クールジャパン現象研究演習 (ネットコンテンツと文化)	2・3・4後		2		1						
	社会意識論演習 (表象文化とジェンダー)	2・3・4前		2		1						
	社会意識論演習 (文化とアイデンティティ)	2・3・4後		2		1						
	社会意識論演習 (法制度とジェンダー)	2・3・4前		2		1						
	社会意識論演習 (仕事と生活の調和)	2・3・4後		2		1						
	犯罪社会学演習 (社会的排除と不平等)	2・3・4前		2		1						
	犯罪社会学演習 (管理される性と生活)	2・3・4後		2		1						
	犯罪社会学演習 (逸脱の医療化)	2・3・4前		2		1						
	犯罪社会学演習 (防犯対策とコミュニティ)	2・3・4後		2		1						
	国際社会学演習 (グローバル化と社会変遷)	2・3・4前		2		1						
	国際社会学演習 (西欧とアジア)	2・3・4後		2		1						
	国際社会学演習 (非西欧と脱西欧化)	2・3・4前		2		1						
	国際社会学演習 (国際システムと国民国家)	2・3・4後		2		1						
エリア・スタディーズ演習 (グローバル化と東アジア)	2・3・4前		2		1							
エリア・スタディーズ演習 (移住/貿易/観光)	2・3・4前		2		1							
ボーダー・スタディーズ演習 (日本の中のボーダー)	2・3・4後		2		1							

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	ボーダー・スタディーズ演習 (アジアの内部/アジアの外部)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (イデオロギーとしての公正・安全・環境)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (再帰的近代と社会不安)	2-3-4後	2			1						
	現代社会論演習 (社会構造の変動と価値変容)	2-3-4前	2			1						
	現代社会論演習 (グローバル化と生活世界の変容)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (日常生活における意味と価値)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (イデオロギーと価値)	2-3-4後	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (階級とジェンダー)	2-3-4前	2			1						
	カルチュラル・スタディーズ演習 (サブカルチャーとサブ文化)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (自由と差別)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (人種差別に抵抗する音楽)	2-3-4後	2			1						
	文化社会学演習 (ブラック・ミュージックと抵抗)	2-3-4前	2			1						
	文化社会学演習 (無意識の植民地主義)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (仕事におけるメンタルヘルス)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (心理学化/医療化する社会)	2-3-4後	2			1						
	応用社会学演習 (医療化と脱医療化)	2-3-4前	2			1						
	応用社会学演習 (病気と健康の構築)	2-3-4後	2			1						
	労働社会学演習 (雇用の流動化と格差社会)	2-3-4前	2				1					
	労働社会学演習 (仕事とジェンダー)	2-3-4後	2				1					
	労働社会学演習 (仕事をめぐるジェネレーションギャップ)	2-3-4前	2				1					
	労働社会学演習 (新しい労働運動)	2-3-4後	2				1					
	感情社会学演習 (ジェンダーとアイデンティティ)	2-3-4前	2			1						
	感情社会学演習 (模倣と変身)	2-3-4後	2			1						
	感情労働論演習 (外見・装飾の演出)	2-3-4前	2			1						
	感情労働論演習 (対人労働のスキル)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (ホームの社会学)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (家族と表象をめぐるジェンダー)	2-3-4後	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とジェンダー)	2-3-4前	2			1						
	親密性の社会学演習 (親密性とセクシュアリティ)	2-3-4後	2			1						
	性現象論演習 (ジェンダーと文化)	2-3-4前	2			1						
	性現象論演習 (セクシュアリティと文化)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィア理論といふ)	2-3-4後	2			1						
	クィア・スタディーズ演習 (クィアをめぐる思想)	2-3-4前	2			1						
	産業社会学演習 (産業構造の転換と市場経済の変容)	2-3-4後	2			1						
	産業社会学演習 (グローバル化とポスト産業社会)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (モード/ファッション/トレンド/ファッション)	2-3-4前	2			1						
	消費社会学演習 (リビッド/身体化/ディスタンス)	2-3-4後	2			1						
	宗教社会学演習 (日本の祭り・行事)	2-3-4前	2				1					
	宗教社会学演習 (ハラスメントとツーリズム)	2-3-4後	2				1					
	宗教社会学演習 (神話・伝説・物語の世界)	2-3-4前	2				1					
	宗教社会学演習 (キリスト教と文化)	2-3-4後	2				1					
	伝統文化論演習 (歴史・民俗とまちづくり)	2-3-4前	2				1					
	伝統文化論演習 (民俗学の視点と方法)	2-3-4後	2				1					
	伝統文化論演習 (都市の民俗学)	2-3-4前	2				1					
	伝統文化論演習 (地域文化とレジリエンス)	2-3-4後	2				1					
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民をめぐる政治と社会)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (移民政策と社会)	2-3-4後	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (広島と移民の歴史)	2-3-4前	2			1						
	マイグレーション・スタディーズ演習 (国内移民とライフコース)	2-3-4後	2			1						
	社会問題の社会学演習 (個人化社会と自己責任論)	2-3-4前	2				1					
	社会問題の社会学演習 (社会的排除/包摂)	2-3-4後	2				1					
	社会問題の社会学演習 (疎外と自己アイデンティティ)	2-3-4前	2				1					
	社会問題の社会学演習 (デジタル化によって構成されていく現実)	2-3-4後	2				1					
	比較社会学演習 (多文化社会の理論)	2-3-4前	2				1					
	比較社会学演習 (人種と民族)	2-3-4後	2				1					
	比較社会学演習 (歴史と記憶)	2-3-4前	2				1					
	比較社会学演習 (多文化社会としての日本)	2-3-4後	2				1					
	量的社会調査演習	3通	4			1						
	質的社会調査演習	3通	4				2					
	社会学文献講読演習Ⅰ	3-4①	2						1			
	社会学文献講読演習Ⅱ	3-4②	2							1		
	社会学文献講読演習Ⅲ	3-4③	2								1	
	社会学文献講読演習Ⅳ	3-4④	2									1
	社会学英書講読演習Ⅰ	3-4①	2						1			
	社会学英書講読演習Ⅱ	3-4②	2							1		
	社会学英書講読演習Ⅲ	3-4③	2								1	
	社会学英書講読演習Ⅳ	3-4④	2									1

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
社会学	社会学特論演習（外国人と日本社会）	2・3・4前	2			1							
	社会学特論演習（現代日本社会におけるエスニテ）	2・3・4後	2			1							
	社会学特論演習（ネットワーク分析の理論と方法）	2・3・4前	2			1							
	社会学特論演習（社会的格差と貧困）	2・3・4後	2			1							
	卒業研究	4通	4			8	3		1				
	小計（95科目）	—											
	特殊演習科目	応用社会学特殊演習	2・3前	2									1
		マスメディア論特殊演習	2・3前	2									1
		ジャーナリズム論特殊演習	2・3後	2									1
		社会安全政策論特殊演習	2・3後	2			2						3
		小計（4科目）	—										
	社会学情報処理科目	情報リテラシー	1前	2									4
		社会学情報処理Ⅰ	1前	2									5
		社会学情報処理Ⅱ	1後	2									5
		社会学情報処理Ⅲ	2・3前	2									1
		社会学情報処理Ⅳ	2・3後	2									1
		社会学情報処理Ⅴ	2・3後	2									1
		社会学情報処理特殊講義Ⅰ	2・3前	2									1
		社会学情報処理特殊講義Ⅱ	2・3後	2									1
		社会学情報処理特殊講義Ⅲ	2・3前	2									2
		社会学情報処理特殊講義Ⅳ	2・3前	2									2
社会学情報処理特殊講義Ⅴ		2・3後	2									1	
Web調査論		2・3前	2									1	
社会学情報処理特殊演習Ⅰ		2・3前	2									1	
社会学情報処理特殊演習Ⅱ		2・3後	2									1	
小計（14科目）	—												
資格課程に関する科目	教育原理	1前		2								1	
	教職入門	1前		2								1	
	教育心理学	2前		2								1	
	教育制度・教育課程論	1後		2								1	
	特別なニーズ教育の基礎と方法	1前・後		2								1	
	道徳教育論	2前・後		2								2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前・後		2								1	
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2前・後		2								1	
	生徒・進路指導論	2後		2								1	
	教育相談	2前・後		2								1	
	中等教育実習事前事後指導	3・4通		1								2	
	中等教育実習Ⅰ	3・4通		2								1	
	中等教育実習Ⅱ	4通		2								1	
	教職実践演習（中・高）	4後		2								1	
	人権教育論	1後		2								1	
	社会福祉論	2前		2								1	
	特別支援教育概論	2後		2								1	
	中等社会科教育法（地理歴史分野）	3後		2								1	
	社会科・地理歴史科教育法	3後		2								2	
	中等社会科教育法（公民分野）	3前		2								2	
	社会科・公民科教育法	3集中		2								1	
小計（21科目）	—												
合計（501科目）	—												

卒業要件及び履修方法  
 全学共通科目20単位以上（地理理解科目1単位以上、国際理解科目4単位以上、一般教養科目4単位以上、キャリアデザイン科目1単位以上を含む）、主専攻科目84単位以上（人文学部総合科目12単位以上、専門講義科目40単位以上及び専門演習科目12単位以上並びに社会学情報処理科目6単位以上を含む社会学専門科目を64単位以上）を修得し、124単位以上を修得すること。  
 履修制限単位数：前期または後期24単位（ただし4年次に限り28単位）、年間44単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。  
 ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。  
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）  
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。  
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。  
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。  
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。  
 （例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度（新）】→【令和5年度（新）】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度（旧）】→【令和5年度（旧）】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

新規科目の追加

・教育課程の充実を図るために、下記新規科目の追加を行った。

[全学共通科目]

(国際理解科目)

ヨーロッパ言語圏留学入門、英語圏留学入門、アジア圏留学入門、Multicultural Project (Video Games Studies)、多文化交流プロジェクト(オンライン交流)、言語と文化(英語の歴史と文化Ⅰ)、言語と文化(英語の歴史と文化Ⅱ)、言語と文化(英語学入門Ⅰ)、言語と文化(英語学入門Ⅱ)、言語と文化(英語と日本語の音声)、留学英語入門(海外生活Ⅰ)、留学英語入門(海外生活Ⅱ)、JAPANトピックス(政治)、JAPANトピックス(社会)、JAPANトピックス(経済)、JAPANトピックス(環境)、英語ディスカッションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、時事英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

(一般教養科目)

地方の現状と行方

(スポーツ・健康科目)

健康スポーツ実習(フィットネス)、健康スポーツ実習(ニュースポーツ)、運動スポーツ実習(フィットネス)、運動スポーツ実習(バレーボール)、運動スポーツ実習(ダンス)

(キャリアデザイン科目)

キャリアデザイン特殊講義(職業選択と自己実現)、新社会人のキャリアを学ぶ

(データサイエンス科目)

応用統計学、情報基礎演習、情報応用演習、データサイエンス特殊講義(データサイエンス入門・演習)

授業科目名の変更

内容を適切に表すために授業科目名の変更を行った。

(変更前) 栄養と健康 → (変更後) スポーツ・健康の栄養学

(変更前) 現代社会学特殊講義 → (変更後) 現代社会学特殊講義(多様な性と教育をめぐる社会学)

(変更前) 現代社会学特殊講義 → (変更後) 現代社会学特殊講義(音楽と社会)

【令和7年度】

・教育課程の充実を図るため、「外国語特殊講義(ドイツ)」、「外国語特殊講義(フランス)」、「外国語特殊講義(スペイン)」、「外国語特殊講義(中国)」、「外国語特殊講義(韓国・朝鮮)」、「プログラミング入門(python)」、「プログラミング入門(JavaScript)」、「プログラミング入門(マクロ言語)」、「日本文学演習Ⅱ(崩し字解読・版本)」

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅰ(ドイツ語)」から「言語文化特殊講義Ⅰ(ドイツ)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅱ(ドイツ語)」から「言語文化特殊講義Ⅱ(ドイツ)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅰ(フランス語)」から「言語文化特殊講義Ⅰ(フランス)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅱ(フランス語)」から「言語文化特殊講義Ⅱ(フランス)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅰ(スペイン語)」から「言語文化特殊講義Ⅰ(スペイン)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅱ(スペイン語)」から「言語文化特殊講義Ⅱ(スペイン)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅰ(中国語)」から「言語文化特殊講義Ⅰ(中国)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅱ(中国語)」から「言語文化特殊講義Ⅱ(中国)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅰ(韓国・朝鮮語)」から「言語文化特殊講義Ⅰ(韓国・朝鮮)」に変更。

・全学的な授業科目名の変更により、授業科目の名称を「言語文化特殊講義Ⅱ(韓国・朝鮮語)」から「言語文化特殊講義Ⅱ(韓国・朝鮮)」に変更。

内容を適切に表すため、授業科目名の変更を、「栄養と健康」から「スポーツ・健康の栄養学」に変更。

内容を適切に表すため、授業科目の名称を、「現代社会学特殊講義」から「現代社会学特殊講義(セクシュアリティをめぐる差別と抵抗の社会学)」に変更。

内容を適切に表すため、授業科目の名称を、「社会学特殊講義」から「社会学特殊講義(国際移動の社会学)」に変更。

・時間割調整により、「留学フォローアップ」の配当年次を「1・2②・④」から「1・2①・③」に変更。

・時間割調整により、「哲学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。

・時間割調整により、「西洋文化論」の配当年次を「1・2④」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「人生の探究としての倫理学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「日本史」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「法学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「経済学」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。

・時間割調整により、「日本近現代史」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「情報環境論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「歴史と社会」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割調整により、「歴史人類学」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。

・時間割調整により、「中国の歴史と社会」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。

・時間割調整により、「事例で学ぶ民法」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割調整により、「現代社会と刑事法」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割調整により、「生物学」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「環境科学」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「動物の自然史と分類」の配当年次を「2・3前」から「2・3後」に変更。

・時間割調整により、「健康科学論」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割調整により、「健康スポーツ実習(Shudo AP)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バスケットボール)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「健康スポーツ実習(卓球)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「健康スポーツ実習(サッカー)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「健康スポーツ実習(テニス)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(アクアティクススポーツ)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(バスケットボール)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(フットサル)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

・時間割調整により、「野外運動実習Ⅰ(キャンプ)」の配当年次を「1・2前」から「2・3前」に変更。

・時間割調整により、「野外運動実習Ⅱ(スキー発展)」の配当年次を「1・2前」から「2・3前」に変更。

・時間割調整により、「野外運動実習Ⅲ(スキー発展)」の配当年次を「1・2後」から「2・3後」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「大学生活とキャリア」の配当年次を「1③」から「1②」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「インターシップ入門」の配当年次を「1④」から「1②」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「キャリアビジョンとキャリア形成」の配当年次を「2・3前」から「2・3前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

・時間割及び担当者調整により、「情報処理入門」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。

・時間割調整により、「環境文学論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。

・時間割調整により、「物語と歴史」の配当年次を「2・3前」から「2・3後」に変更。

・時間割調整により、「社会学基礎講座」の配当年次を「1①」から「1①②」に変更。

・時間割調整により、「コミュニケーション論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。

・時間割調整により、「アニメ社会学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。

・時間割調整により、「労働社会学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。

・時間割調整により、「クイズ・スタディーズ」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。

・時間割調整により、「宗教社会学」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。

- ・時間割調整により、「伝統文化論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「社会問題の社会学」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整により、「現代社会学特殊講義(セクシュアリティをめぐる差別と抵抗の社会学)」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2前」に変更。
- ・時間割調整により、「社会学特殊講義(国際移動の社会学)」の配当年次を「2・3・4前」から「1・2前」に変更。
- ・時間割調整により、「社会構想と公共政策」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「社会調査論Ⅱ(統計学)」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・時間割調整により、「量的社会調査法(多変量解析)」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「質的社会調査法」の配当年次を「2後」から「2前」に変更、専任教員(准教授)数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割調整により、「コミュニケーション論演習(ネットメディアと文化)」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整により、「クールジャパン現象研究演習(コンテンツと表現)」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整により、「現代社会論演習(再帰的近代と社会不安)」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「現代社会論演習(社会構造の変動と価値変容)」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整により、「応用社会学演習(医療化と脱医療化)」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整により、「感情社会学演習(模倣と変身)」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「親密性の社会学演習(家族と表象をめぐるジェンダー)」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「産業社会学演習(産業構造の転換と市場経済の変容)」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・時間割調整により、「消費社会論演習(モード/ファッション/トレンド/ブーム)」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「情報リテラシー」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「5」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「社会学情報処理Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「3」から「5」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「社会学情報処理Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「3」から「5」に変更。
- ・時間割調整により、「社会学情報処理特殊演習Ⅰ」の配当年次を「2・3前」から「2・3後」に変更。
- ・時間割調整により、「特別なニーズ教育の基礎と方法」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「道徳教育論」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「教育方法論(情報通信技術の活用を含む)」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「教育相談」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・時間割調整により、「特別支援教育概論」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「中等社会科教育法(地理歴史分野)」の配当年次を「3後」から「2前・後」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「社会科・地理歴史科教育法」の配当年次を「3後」から「2前・後」に変更。
- ・担当者調整により、「社会文化体験演習」の専任教員(教授)数「1」、兼任・兼任教員数を「4」から兼任・兼任教員数「2」に変更。
- ・担当者調整により、「社会安全政策論」の専任教員(教授)数「2」から、専任教員(教授)数「2」、兼任・兼任教員数「16」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「社会学研究入門Ⅰ」の専任教員(教授)数「2」、専任教員(准教授)数「1」から専任教員(教授)数「2」、専任教員(准教授)数「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「社会学研究入門Ⅱ」の専任教員(教授)数「2」、専任教員(准教授)数「1」から専任教員(教授)数「2」、専任教員(准教授)数「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「社会学方法論」の専任教員(教授)数「1」から専任教員(教授)数「1」、専任教員(准教授)数「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「社会学概論」の専任教員(教授)数「1」から専任教員(教授)数「1」、専任教員(准教授)数「1」に変更。
- ・担当者調整により、「海外体験演習」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「広島修道大学と広島」の兼任・兼任教員数を「3」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅴ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅵ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅶ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「日本語Ⅷ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語Ⅰ(リーディング・ライティング)」の兼任・兼任教員数を「1」から「9」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語Ⅱ(リーディング・ライティング)」の兼任・兼任教員数を「1」から「9」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語Ⅲ(リスニング・スピーキング)」の兼任・兼任教員数を「1」から「9」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語Ⅳ(リスニング・スピーキング)」の兼任・兼任教員数を「1」から「9」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語聴解Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語聴解Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語コミュニケーションⅠ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語コミュニケーションⅡ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語語法Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語語法Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語入門Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語入門Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「1」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中国語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「韓国・朝鮮語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「韓国・朝鮮語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「韓国・朝鮮語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「韓国・朝鮮語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中級外国語Ⅰ(韓国・朝鮮語)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「中級外国語Ⅱ(韓国・朝鮮語)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「現代経済学」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「運動スポーツ実習(ニュースポーツ)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「広島の事業承継を学ぶ」の兼任・兼任教員数を「1」から「7」に変更。
- ・担当者調整により、「データサイエンス概論」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「Media EnglishⅠ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「Media EnglishⅡ」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「Business EnglishⅠ」の兼任・兼任教員数を「3」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「Business EnglishⅡ」の兼任・兼任教員数を「3」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「教育心理学」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	420 科目	21 科目	454 科目	13 科目 [ 0 ]	474 科目 [ 54 ]	21 科目 [ 0 ]	508 科目 [ 54 ]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	言語と文化（英語の歴史と文化Ⅱ）	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員の派遣研究により令和7年度未開講
2	宇宙と物質と生命の科学	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員の授業数調整により令和7年度未開講
3	健康スポーツ実習（ゴルフ）	1	1・2・3・4	一般	選択	授業内容の見直しのため令和7年度未開講
4	運動スポーツ実習（ゴルフ）	1	1・2・3・4	一般	選択	授業内容の見直しのため令和7年度未開講
5	社会意識論	2	2・3・4	専門	選択	担当教員の特別研究により令和7年度未開講

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目（国際理解科目、一般教養科目、スポーツ・健康科目）4科目、主専攻科目（理論・方法に関する科目）1科目について未開講となったものの、選択科目であること、当該科目以外にも十分な科目を開講していることから、学生の体系的な学修への影響はないと判断している。

学生には、広島修道大学Webシラバスによる公開、履修登録システム、教学センターガイダンス等を通して、丁寧に周知している。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{454} = \boxed{1.1}\%$$

数式が入力されています。

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	完成年度まで に実施予定の 建設工事  【令和5年】 ・テニスコート 竣工 ・新体育館建設 開始 【令和7年前期】 ・新体育館竣工 【令和7年後期】 ・旧体育館解体 【令和8年前期】 ・旧体育館跡地 に駐車場整備			
	校舎敷地	37,146㎡	0㎡	0㎡	37,146㎡				
	運動場用地	91,774㎡	0㎡	0㎡	91,774㎡				
	小 計	128,920㎡	0㎡	0㎡	128,920㎡				
	そ の 他	209,955㎡	0㎡	0㎡	209,955㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎	専 用	70,640㎡ ( 70,640㎡)	共 用 ( 0㎡)	共用する他の 学校等の専用 ( 0㎡)	計 ( 70,640㎡)				
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設 (補助職員一人)	語学学習施設 (補助職員一人)	大学全体			
(3) 教 室 等	97室	16室	64室	18室	7室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 社会学科			12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不 能なため、大学全体 の数  実績に基づき修正 (7)  実績に基づき修正 (6)	
		冊	種	種					
	人文学部社会学科	934,961 [241,244] 936,136 [241,517] 942,073 [244,733] (917,045 [239,615]) (911,592 [239,145]) (921,073 [241,493])	25,241 [16,470] 24,178 [15,392] 24,091 [15,333] (25,241 [16,470]) (24,178 [15,392]) (24,091 [15,333])	13,774 [13,741] 12,731 [12,667] 12,726 [12,651] (13,774 [13,741]) (12,731 [12,667]) (12,726 [12,651])	24,867 24,864 24,911 (24,468) (24,328) (24,491)				
	計	934,961 [241,244] 936,136 [241,517] 942,073 [244,733] (917,045 [239,615]) (911,592 [239,145]) (921,073 [241,493])	25,241 [16,470] 24,178 [15,392] 24,091 [15,333] (25,241 [16,470]) (24,178 [15,392]) (24,091 [15,333])	13,774 [13,741] 12,731 [12,667] 12,726 [12,651] (13,774 [13,741]) (12,731 [12,667]) (12,726 [12,651])	24,867 24,864 24,911 (24,468) (24,328) (24,491)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 完成年度まで に実施予定の 建設工事  【令和5年】 ・テニスコート 竣工 ・新体育館建設 開始 【令和7年前期】 ・新体育館竣工 【令和7年後期】 ・旧体育館解体 【令和8年前期】 ・旧体育館跡地 に駐車場整備			
	11,700㎡		922	1,200,000					
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	10,525㎡	屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子ジャー ナル・データベース整 備費(運用コスト含 む)を含む  図書購入費及び設備購 入費は予算実績に基づ き修正(6)	
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	3,079千円 3,557千円		12,886千円
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	1,146千円 1,958千円	7,935千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。  
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び  
「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)  
・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。  
・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	広島修道大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	6		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度		
商学部	4	295	0	1,180	-		1.14	1.09	-	昭和35	広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号	
商学科	4	155	0	620	学士(商学)		1.09	1.06	-	昭和35	同上	
経営学科	4	140	0	560	学士(経営学)		1.18	1.13	-	昭和38	同上	
経済科学部	4	230	0	920	-		1.14	1.09	-	平成9	同上	
現代経済学科	4	115	0	460	学士(経済科学)		1.17	1.12	-	平成9	同上	
経済情報学科	4	115	0	460	学士(経済科学)		1.11	1.06	-	平成9	同上	
人文学部	4	295	0	1,010	-		1.12	1.10	-	昭和48	同上	
人間関係学科 社会学専攻	4	-	-	-	学士(文学)		-	-	-	昭和48	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
社会学科	4	95	0	190	学士(社会学)		1.15	-	-	令和6	同上	
教育学科	4	100	0	400	学士(教育学)		1.21	1.19	-	平成28	同上	
英語英文学科	4	100	0	420	学士(文学)		1.02	0.98	令和6	昭和48	同上	令和6年度から入学定員変更(110→100)
法学部	4	195	0	780	-		1.14	1.09	-	昭和51	同上	
法律学科	4	195	0	780	学士(法学)		1.14	1.09	-	昭和51	同上	
人間環境学部	4	115	0	460	-		1.07	1.01	-	平成14	同上	
人間環境学科	4	115	0	460	学士(人間環境学)		1.07	1.01	-	平成14	同上	
健康科学部	4	160	0	640	-		1.10	1.08	-	平成29	同上	
心理学科	4	80	0	320	学士(心理学)		1.17	1.14	-	平成29	同上	
健康栄養学科	4	80	0	320	学士(栄養学)		1.03	1.02	-	平成29	同上	
国際コミュニティ学部	4	150	0	600	-		1.16	1.10	-	平成30	同上	
国際政治学科	4	75	0	300	学士(国際政治学)		1.13	1.05	-	平成30	同上	
地域行政学科	4	75	0	300	学士(地域行政学)		1.19	1.15	-	平成30	同上	
大学全体	4	1,440	0	5,590	-		-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」として全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」としては、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

「5 教員組織の状況」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。



## 7 その他全般的事項

### <人文学部 社会学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学教学マネジメント委員会にて審議・立案し、広島修道大学大学運営会議へ提案する。広島修道大学FD・SD規程に基づき広島修道大学大学運営会議で審議する。

人文学部に関する事項を審議する組織として、人文学部FD推進委員会を設置されている。さらに、人文学部の教授会においても、社会学科に関する教育内容、教育方法等の改善を図るための審議を、必要に応じて行うこととしている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### <大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。令和6年度も4月15日の大学運営会議の議題「2024年度FD・SD研修会開催日程について」で令和5年度の研修実施実績報告と令和6年度の研修計画が承認された。

###### <教学マネジメント委員会>

学長が指名する副学長1名、学部長、研究科長、教学センター長、事務局長、教学センター事務部長、その他前述の副学長が必要と認めたものによって構成され、年に3回程度開催される。

###### <人文学部FD推進委員会>

年に2回以上開催する予定であり、人文学部専任教員（学部契約教員を除く。）及び学部担当の教学センター職員が参加する。必要に応じて学部契約教員にも参加を願うことがある。

###### <学科会議>

人文学部社会学科会議については、社会学科教員が参加して毎月1回開催しており、学科に関する事項を審議している。

c 委員会の審議事項等

〈大学運営会議〉

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

〈教学マネジメント委員会〉

- (1) 三つのポリシーに関すること
- (2) 授業科目、教育課程の編成及び実施に関すること
- (3) 学修成果・教育成果の把握及び可視化並びに情報公表に関すること
- (4) ファカルティ・ディベロップメントに関すること
- (5) 教学IRIに関すること
- (6) その他、大学及び大学院の教育改革と教育改善に関すること

〈人文学部FD推進委員会〉

- (1) カリキュラムの編成について
- (2) 授業科目のシラバスについて
- (3) 授業の方法について
- (4) 授業評価の方法について
- (5) 厳正で客観的な成績評価の実施について
- (6) 授業時間外の学修相談及び履修指導について
- (7) 授業アンケートの実施、分析及び検討について
- (8) 成績評価基準及び授業アンケート結果などの学生への周知について
- (9) その他必要な事項について

② 実施状況

a 実施内容

全学では、授業改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目的としたFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目的とした組織的な公開授業等を行っている。

人文学部FD推進委員会では、カリキュラムの編成、授業評価の方法、授業時間外の学修相談及び履修指導などについて、相互に意見交換する予定である。

b 実施方法

全学のFD・SD研修会は、全教員が参加できるよう、定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。また、大学を構成する各学部・部局がその取組みを共有できるよう報告者を工夫している。

人文学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に開催する。人文学部FD推進委員会における研修テーマは、FD運営委員が事前に調整し、各回の研修目的を達成できるように努力する。FD運営委員は、学部長、学部教務主任のほか教員若干名で構成している。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

・FD・SD研修会

令和7年度は、現時点で、第1回「修大カフォーラム（予定）」（8月1日）、第2回「テーマは調整中」（11月12日）の開催が決定している。

令和6年度は以下の通りであった。

第1回「修道カフォーラム 私立大学をとりまく環境—これからの教育について—」

（8月2日開催 参加者数：教員194名、職員147名）

第2回「果たしてAIは大学にとって有益なのか？」

（11月13日開催 参加者数：教員188名、職員141名）

・教育力アップセミナー（新任教員対象）

令和6年度

「組織的な教育力を高めるために」

（9月6日開催 参加者数：教員8名、職員7名）

・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。令和7年度は5月21日から7月15日までを公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。令和6年度は、前期は60名の教員が77科目で公開授業を実施し、延べ26名の教員が参加して授業研究を行った。後期は66名の教員が85科目で公開授業を実施し、延べ44名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈人文学部〉

・人文学部FD推進委員会

9月定例教授会（9月10日開催予定）の終了後に第1回FD推進委員会を開催する予定である。テーマは未定である。

令和6年度には、7月と12月に人文学部FD推進委員会を開催した。テーマおよび参加人数は以下のようになっている。

第1回 人文学部FD推進委員会

テーマ：「TA/SA制度の試験運用と学生募集への活用」

（2024年7月10日（水）開催 参加人数：教員36名（職員2名））

第2回 人文学部FD推進委員会

テーマ：「教育学科の教育・研究・広報活動と結びついた社会連携活動の取り組みについて」

（2024年12月4日（水）開催 参加人数：教員36名（職員2名））

・人文学部教授会

令和7年度第1回人文学部教授会（4月1日）では、カリキュラム編成に関する情報を共有し、成績不振学生に関する指導の要請がなされた。人文学部の教員36名が参加した。

・社会学科会議

令和6年度

第1回 令和6年 4月1日 令和6年度第1回社会学科会議（4月3日）では、年度内の社会学科における事業計画、学科教員の業務に関する分担、成績不振学生の指導に関して審議された。

第2回 令和6年 5月8日 社会学科では卒業研究については指導教員および副指導教員による2名の指導体制を取っている。（現時点では人間関係学科社会学専攻のカリキュラムであるが）卒業研究に関する副指導教員の関わり方に関して審議された。副指導教員は卒業研究ルーブリックを用いて、題目届提出時に提出される研究計画書を確認・評価し、卒業研究作成に向けてのコメントを学生に提示することとされた。11月実施予定の社会学科開設記念イベントに関する日程の決定および開催計画立案に関する審議も行われた。

第3回 令和6年 6月12日 6月の入試説明会の企画内容全般の共有および7月・8月に開催予定のオープンキャンパスに関する業務分担、内容等を検討した。2025年度演習の学生振り分け方法および卒業研究の副指導の役割分担についての検討・議論を行った。2024年度社会学科入学生の英語プレイスメントテストのレベルに関する共有・分析を行った。

第4回 令和6年 7月10日 2025年度に社会学科から提供される教養科目数・内容に関する検討を行った。2025年度開講予定科目の検討・確認と再履修科目の追加案について検討・決定した。

第5回 令和6年 9月11日 社会調査士科目認定申請に際して、社会調査協会への事前相談の必要があり、その相談内容に関する検討を行った。2025年度に社会学科に関する予算編成に関する説明が行われた。認証評価関連の学科での対応に関して学科内で共有・検討した。社会学科の学術講演会の企画日程・内容について検討され、学科内で共有された。

第6回 令和6年 10月9日 令和7年度のカリキュラム運営に関して、とくに社会調査士科目に関する検討が行われた。「社会学情報処理Ⅰ」の再履修クラスの編成について検討された。専門科目のなかで他学部他学科聴講不可科目が決定された。総合選抜型入試に関する業務分担の確認を行った。社会学科の教育用および情報発信用の独自のウェブサイト作成に関する検討を行った。

第7回 令和6年 11月13日 令和7年度に社会学科カリキュラムの最終確認を行った。2025年度演習科目及び卒業研究に関するクラス分け説明会の方法の最終確認を行った。総合型選抜入試結果に関するデータの確認と以降の入試に関する定員管理について検討した。

第8回 令和6年 12月18日 2024年度学科事業計画の達成状況について確認し、達成状況の年度末見込み評価を検討した。2026年度学校推薦型入試（公募・専願）の入試方法の変更について議論し、決定した。2025年度入試の学校推薦型入試（公募専願・併願）、指定校推薦入試、附属校入試のデータを共有し、定員管理について検討した。

第9回 令和7年 1月15日 2025年度（一般入試以前の）前半入試結果に関する振り返りを学科内で行った。2026年度入試（学校推薦型公募専願）に関する試験内容の変更についての検討を開始した。

第10回 令和7年 2月12日 2025年度一般前期入試結果についての共有を行い、次年度の社会学科の入試に向けての検討課題を共有した。また、入学定員の管理に関して、これまでの入試データ等に基づき検討した。

第11回 令和7年 3月7日 2026年度入試に向けて、指定校に関する検討を行った。2026年度入試業務に関する担当案を提示し、案に関して検討した。2年次配当で複数教員担当による必修科目である「社会学研究法」に関するクラス分けの関しての議論を行った。情報処理科目についての非常勤講師の配置に関して調整した。

#### 令和7年度

第1回 令和7年 4月3日 令和7年度内の社会学科における事業計画、学科教員の業務に関する分担、成績不振学生の指導に関して審議された。また、入試関連の説明会およびオープンキャンパスにおける学科説明、模擬講義等の内容に関して審議された。

以上定例の学科会議に以外に、社会学科では、複数教員で担当する科目に関して授業運営や共有しておく事項等に関する検討および議論を行っている。

令和7年3月18日 社会学科2年次対象科目として令和7年度後期に開始される「社会学研究法」の授業方法や授業内容に関して、新任教員2名を含めた4名の担当教員により打ち合わせおよび授業計画および授業方法等の意見交換を行った。

社会学科1年次生対象の社会学研究入門Ⅰ・Ⅱの授業に関しても複数教員が担当しているので、学生による学修の進捗状況や出席状況等の情報について共有するとともに、授業方法等の共有も随時行ってきた。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFD・SD研修会では、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回（前期・後期）定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。令和6年度は第2学期末の7月、第4学期末の1月に実施した。令和7年度にも、令和6年度同様に第2学期末の7月、第4学期末の1月の実施を予定している。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、授業担当者だけでなく学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

- ・科目分類別の授業アンケート集計表
- ・実施集計表（学部単位の実施者数および率）

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部社会学科は、前身の人文学部人間関係学科社会学専攻の設置趣旨「『集団としての人間』の営為を理解するための社会学的な方法及び理論に関する教育を行い、人間社会の未来を切り開く知識と実践的応用力を備えた人材養成」という目的に基づきつつ、社会における問題発見、多様性の理解、社会調査による実証研究の遂行、社会学の理論的枠組みや方法にもとづく理論的思考、社会構想や提言等の能力をもつ人材の養成を目的としている。

令和6年4月から令和7年3月までの1年間、社会学科1年次生においては、設置趣旨と教育目的を十分に理解し、興味関心を持った学生が入学し、社会学科においてより充実させた社会学の多様な専門科目においても自らの興味・関心を深めることができているという手ごたえが感じられる。また、社会学研究入門Ⅰ・Ⅱ等の授業では、これまで以上に多くの教員の専門領域に触れる機会があるので、学生の興味・関心の多様性に対して対応が可能になっていると考えられる。

令和7年度からは社会学科生は2年次生となり、専門講義科目および演習科目が開始するので、そうした社会学の専門科目の授業実施において、学生の学修状況を把握するとともに、それが学科におけるカリキュラム編成を中心とした設置目的と結びついていることを説明していく予定である。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

前年度の教育研究活動に関する報告書を毎年7月に公表する予定である。

###### b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開してきた。また、Webサイトでも同様の情報公表を行ってきた。2024年度からは全て電子化して公表する形へ変更した。

##### ③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

これまで、平成16年度、平成23年度、平成30年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。令和7年度に大学基準協会の第三者認証評価を受けた。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]

◀ aで「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

◀ aで公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○広島修道大学FD・SD規程

(趣旨)

第1条 本学におけるファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメントを推進するために、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程においてファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）とは、授業の内容・方法を改善・向上させるために行う各学部・各研究科等の組織的な取組をいう。

2 この規程においてスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）とは、大学運営・教育研究活動支援に資する業務の知識・スキルを改善・向上させるための組織的な取組をいう。

(審議機関及び審議事項)

第3条 本学におけるFD及びSDに関する次の事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。

- (1) FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること。
- (2) FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること。
- (3) その他FD及びSDの推進に関すること。

(事務担当)

第4条 この規程に関する事務は、人事課が担当する。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 この規程は、2012年6月7日に制定し、同日から施行する。
- 2 この規程の施行により、広島修道大学FD委員会規程は廃止する。
- 3 この規程は、2014年1月9日に第3条を改正し、2014年4月1日から施行する。
- 4 この規程は、2015年4月2日に全面的に見直し、2015年4月1日に遡及して施行する。

○広島修道大学人文学部FD推進委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、広島修道大学学則第1条の4に基づき、広島修道大学人文学部（以下「本学部」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するためのFD推進委員会（以下「委員会」という。）に係る必要な事項を定める。

(目的)

第2条 委員会は、本学部の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行うことを目的とする。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、本学部専任教員（契約教員を除く。）及び教務職員で構成する。

2 委員会に委員長を置き、学部長を委員長とする。

(委員会の会議)

第4条 委員会は年2回開催し、必要があれば臨時に開催することができる。

(作業委員会)

第5条 委員会に、研修及び研究事項を調査・分析するために作業委員会を置く。

2 作業委員会の委員は、教務主任及び委嘱委員（5名）をもって組織する。ただし必要に応じて関係のある教職員の出席を求めることができる。

(組織的な研修及び研究)

第6条 委員会は、以下に定める事項について組織的な研修及び研究を行うものとする。

- (1) カリキュラム・授業科目の構成について
- (2) 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
- (3) 授業の方法について
- (4) 履修指導について
- (5) 厳正で客観的な成績評価方法について
- (6) 成績評価結果の告知方法について
- (7) 進級制度及び進級認定について
- (8) 最終試験及び卒業認定について
- (9) 授業アンケートについて
- (10) その他必要な事項について

(事務担当)

第7条 委員会に関する事務は、教学センターが担当する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

- 1 この規程は、2008年9月11日に制定し、同日から施行する。
- 2 この規程の施行をもって、広島修道大学人文学部FD推進委員会内規は廃止する。
- 3 この規程は、規程等整理の方針に基づき、2011年9月29日に改正し、同日から施行する。
- 4 この規程は、2012年3月1日に第3条第1項を改正し、同日から施行する。
- 5 この規程は、2015年9月3日に第7条を改正し、2015年10月1日から施行する。